激走

アスリートとともに挑む大分。

第26回 ふるさとイベント大賞内閣総理大臣賞受賞

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に健康と福祉を

8 働きがいも経済成長も

10 人や国の不平等をなくそう

第41回 THE 41st OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON

大分国際車いすマラソン

2022 11.20 sun 10:00 START!

MEMORIAL BOOK 大会記念誌

大会会長あいさつ

世界初の車いす単独のマラソン大会として、1981年の国際障害者年に故中村裕博士の提唱で始まったこの大会は、令和4年11月20日に第41回大会を盛大に開催することができました。

新型コロナウイルス感染症が未だ落ち着かない中でしたが、3年ぶりに海外からの一般参加選手も参加するなど、名実ともに「大分国際車いすマラソン」が戻ってきた大会となりました。

レース当日は心配されていた雨も降らず、海外12か国から25名、国内30都府県から133名、合計158名の選手が出走し、絶好のコンディションの中、選手一人ひとりの素晴らしい激走が見られました。

マラソン男子、最速クラスのT34/53/54では、マルセル・フグ選手が序盤から独走し、大会4連覇、通算10度目の輝かしい優勝を飾りました。

また、T51クラスでは、ピーター・ドゥ・プレア選手が、27年ぶりに世界記録を更新する素晴らしい走りで、大会6連覇を成し遂げました。

T33/52クラスでは、佐藤友祈選手が上与那原寛和選手とのマッチレースを制し大会2連覇を成し遂げました。

マラソン女子でも、T34/53/54クラスで土田和歌子選手がゴール前で競り勝ち、7度目の優勝を果たすなど、世界最高峰の車いすマラソンにふさわしいレースが各クラスで繰り広げられるとともに、沿道や競技場など至るところで選手の走りに熱い声援が送られました。

コロナ前の規模に戻った今大会を成功裏に終えられましたのも、選手の頑張りはもちろん、多くの企業や団体、医療関係者、ボランティアなど多くの方々のご協力とご支援によるものです。スポーツのもたらす力を、この大分の地から国内外に力強く発信できたことは誠に意義深く、心から感謝申し上げます。

改めて、この大会が積み重ねてきた感動の歴史の重みを糧として、障がいの有無や国籍、文化の違いを超え、すべての人々が心豊かに暮らすことができる共生社会の実現に向けた更なる尽力を誓い、発刊のあいさつとします。

第41回 大分国際車いすマラソン 大会会長
大分県知事 広瀬 勝貞 HIROSE KATSUSADA

マラソン男子 T34/53/54 優勝

マルセル・フグ

1° 21′ 10″　スイス

MARCEL E. HUG / SWITZERLAND

レース序盤から抜け出しそのまま引き離すと、最後は後続に3分以上の差をつけ圧勝、10度目の栄冠に輝いた。異次元の強さを見せつけたフグは、2022年に開催された六大マラソンのうち、出場した5つのレースをすべて制するという完璧な一年を過ごした。円熟味を増したレースっぷりはまさに絶対王者。

マラソン男子 T33/52 優勝

佐藤 友祈 さとう ともき

1° 49′ 57″　岡山県

SATO TOMOKI / OKAYAMA

東京パラリンピックの陸上トラック種目2冠のスプリント力と持久力を活かし、4度目の優勝。誕生したばかりの第一子の存在と沿道の声援を追い風に、タイムも目標を5分以上上回る好記録を叩き出した。レーサーの乗り方を変えて初めて挑んだこのレースで掴んだ手応えを活かし、来年も世界の高みを目指す。

マラソン女子 T34/53/54 優勝

土田 和歌子 つちだ わかこ

1° 37′ 59″ 東京都

TSUCHIDA WAKAKO / TOKYO

息が詰まるトラック勝負。スプリント力で競り勝ち10年ぶりの優勝。様々なパラスポーツに挑み、東京パラリンピックはトライアスロンとの二刀流で参加するなど、それぞれの舞台でトップアスリートとして輝いてきた。競技生活の最後は陸上でと、マラソンのための体づくりを行い、大輪の花を咲かせた。まさにレジェンド。

マラソン男子 T51 優勝

ピーター・ドゥ・プレア

2° 22′ 33″ 南アフリカ

PIETER DU PREEZ / SOUTH AFRICA

万全のコンディションで挑み6度目の優勝。道中後ろから来た選手に追突されるアクシデントに見舞われ、頭に諦めもよぎる中、日常からトレーニングまで、常に支えてくれている妻子の声援に乗り、出した時計は27年ぶりの世界新記録。「家族で達成した記録」とプレア。強い男は感謝と優しさも忘れない。

ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝

生馬 知季
いこま ともき

0° 45′ 32″

岡山県

IKOMA TOMOKI
OKAYAMA

追撃する後続選手を、強みのスプリント力と上り坂を攻める戦略などを駆使して引き離し、2連覇を達成。勝って反省と課題を口にするストイックさを持つ。

ハーフマラソン男子 T33/52 優勝

伊藤 竜也
いとう たつや

0° 55′ 54″

福井県

ITO TATSUYA
FUKUI

目標タイムに届かなかったとレース後の感想を述べるが、2着に大差の圧勝。マラソンでの参加も視野に入れる来年以降の活躍も楽しみな選手。

ハーフマラソン男子 T51 優勝

清田 慎也
きよた しんや

1° 31′ 48″

熊本県

KIYOTA SHINYA
KUMAMOTO

4度目の優勝を飾り、「沿道の温かい声援で3年ぶりに大分に戻ってきたことを実感した」と語る。走る喜びを感じつつ来年はマラソンでの参加も視野に。

ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝

村岡 桃佳
むらおか ももか

0° 54′ 10″

岡山県

MURAOKA MOMOKA
OKAYAMA

東京パラ陸上100m6位入賞、北京冬季パラのアルペンスキーで4つのメダルの二刀流アスリート。序盤は硬くなったと反省も、押し上げて貫禄の勝利。

ハーフマラソン女子 T33/52 優勝

木山 由加
きやま ゆか

1° 19′ 59″

岡山県

KIYAMA YUKA
OKAYAMA

14連覇達成も、道中ペースをつかめずに目標タイムに届かなかったと悔しがる。すでに15連覇がかかる来年を見据えている。

海外選手歓迎セレモニー　11/16[水] 17:30～ レンブラントホテル大分

6ヵ国8選手が大分入りし、事務所スタッフと通訳ボランティアが拍手で迎え、花束を贈呈。フグ選手は、「良いパフォーマンスを見せて優勝したい」、デイビス選手は「大分にまた来ることができてうれしい。新しい友達もつくりたい」とコメント。レースや一般参加が再開された大会自体への期待と興奮が静かに高まってゆく。

選手受付　11/19[土] 9:30～14:00 大分市営陸上競技場 ／ 9:00～12:00 大分県庁

感染症対策を行った上での受付が行われた。コロナ禍以前のような華やかさはないが、受付に来た選手たちの表情は一様に明るい。

記者会見　11/19[土] 15:15～ お部屋ラボ 祝祭の広場

大会前日大分市のお部屋ラボ祝祭の広場でフグ選手、鈴木朋樹選手、ダニエル選手らが参加してインタビュー形式で行われた。自身のコンディション、記録へ挑むために行ってきた取り組みから、運営もボランティアへの謝辞が語られる。喜納翼選手は緊張とワクワクが入り混じっているとコメント。明日の本番に向け、全選手準備万端な様子。

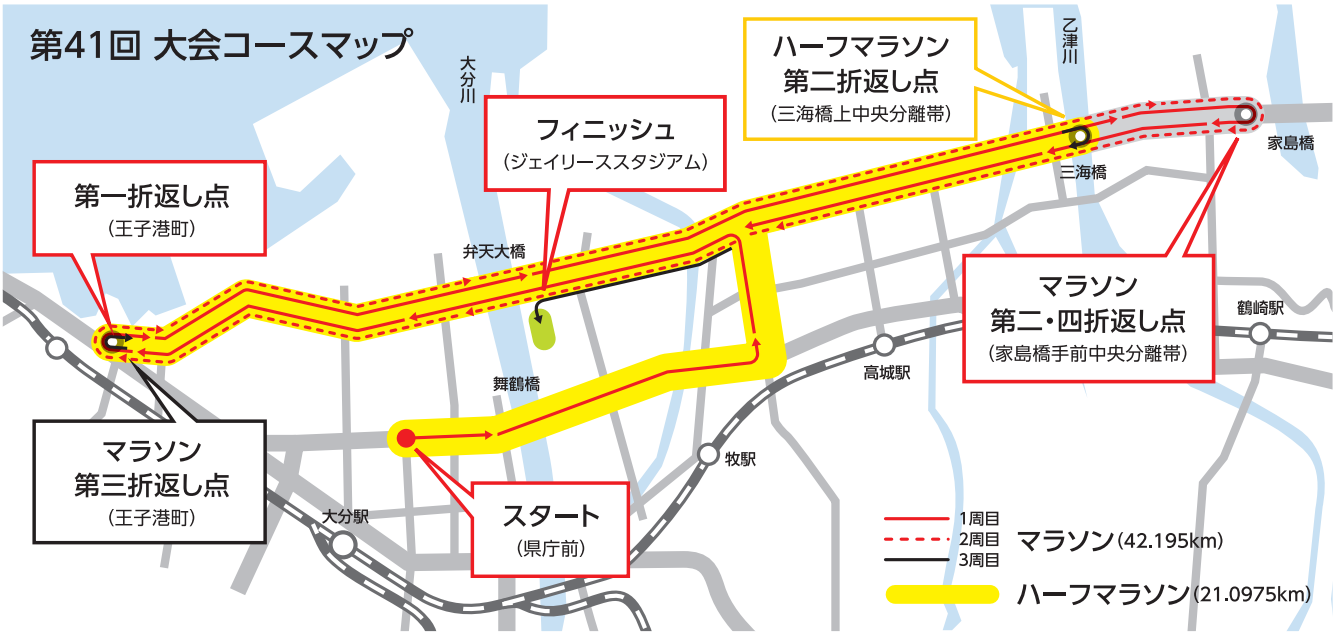
マルセル・フグ
MARCEL HUG
スイス

鈴木 朋樹
SUZUKI TOMOKI
東京都

ダニエル・ロマンチュク
DANIEL SCOTT ROMANCHUK
アメリカ

喜納　翼
KINA TSUBASA
沖縄県

ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ
南アフリカ



オープニングイベント クロストーク

「インクルージョンが未来を拓く」

11/19[土] 14:15～ お部屋ラボ 祝祭の広場

「インクルージョンが未来を拓く」をテーマにトークイベントを開催。「パラスポーツ×障がい者雇用×企業経営」の三者が繋がり、未来へ向けた発信を行うことで、より一層共生社会の深化に寄与できないか話し合いを行った。

クロストーク参加者

オムロン太陽株式会社
代表取締役社長
立石 郁雄 氏

ホンダ太陽株式会社
佐矢野 利明 氏

学校法人 日本体育大学
辻 沙絵 氏

株式会社阪急交通社
中西 麻耶 氏

司会進行／OBSアナウンサー
三重野 勝己 氏

開会式 11/19[土] 16:00～ お部屋ラボ 祝祭の広場

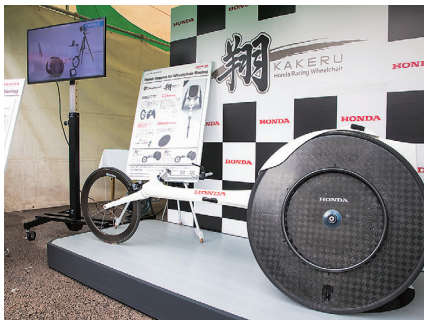
マルセル・フグ選手、鈴木朋樹選手らが参加。選手宣誓のヴァン・ヴォン選手が「大分の地を力強く走り抜きたい」と力強く宣誓。

選手宣誓
ヴァン・ヴォン
VAN VUN

大会会長あいさつ／大分県知事
広瀬 勝貞
HIROSE KATSUSADA

地元市長あいさつ／大分市長
佐藤 樹一郎
SATO KIICHIRO

来賓あいさつ／駐日スイス大使
アンドレアス・バオム
ANDREAS BAUM



ファーストチャレンジアシストの皆さん

当日は、共生社会ホストタウンの大分市の取り組みと交流相手国スイス連邦について知ってもらうため、スイス大使館から大使らを招き「スイスフェア」を開催した。

スタート直前

定められた感染症対策を行えば、3年ぶりに声出しの応援が可能になった今大会。選手・運営・観客が一つになって最高の大会を作る。

しっかりしんけん
がんばって
Go after it!

353
380
348
308

スタート

11/20[日] 10:00〜
マラソンスタート
大分県庁前

歓声に背中を押されながら大分県庁前をスタート。当たり前を取り戻した喜びがイベント全体を温かく包み込む。

マラソン スターター　大会会長 大分県知事
広瀬 勝貞

11/20[日] 10:03～
ハーフマラソンスタート
大分県庁前

ハーフマラソンスターター　スポーツ庁長官
室伏 広治

レース

国外12ヵ国を含む158人が、障がいの程度に応じた3クラスに分かれ、マラソンとハーフマラソンで競う合う。東京パラリンピックや、中には冬季の北京パラリンピックのテレビの中のアスリートたちが目の前を全力で駆け抜ける。

最高齢96歳のアスリートも。大会は他者との、そして自分自身との戦いでもある。ストイックな姿が感動を作る。

レース

361
352
358
370

34

43
23

315
312

トラック、そしてフィニッシュ

最強クラスのマラソンT34/53/54男子では、異次元の走りでマルセル・フグ選手が圧勝で10度目の栄冠。でも、どのクラスでもそれぞれの戦いがある。戦いの果てに見せる喜び、達成感、疲労感、ベストを尽くした戦いは、どれもすがすがしいのだ。

大分国際
車いすマラソン
339
337
368
330
331

307
305

DENSO

358
367
352

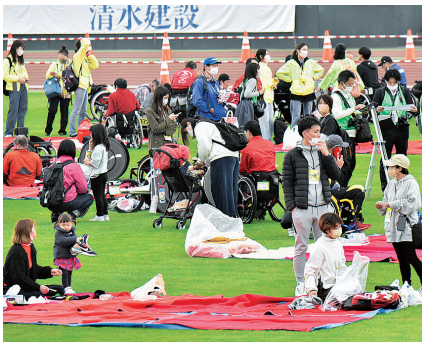
330
337

405
43

車いすマラソン
HONDA
大分国際車いすマラソン

競技場にて

激走を終えた選手たちの顔に緊張から解き放たれた笑みが戻る。同じ場所、同じコースで同じ日に走った選手たちはいわゆる戦友のようなもの。年齢、性別、言葉、その全てに壁は無く、通じ合った心を通して親睦を深めてゆく。そんなかけがえのない余韻に浸る。


清水建設

DAITETSU

閉会式

声出し応援の解禁など、平時に近い大会が開催され、声の力に気付かされる。目の前で繰り広げられるたくさんのドラマに対する、祝福を、励ましを届けられる当たり前に感謝。メダル贈呈と大会関係者からの感動の辞が行われ、またひとつの大会が終わる。

閉会あいさつ／大会会長 大分県知事
広瀬 勝貞
HIROSE KATSUSADA

マラソン審判長
田崎 弘宣
TAZAKI HIRONORI

ハーフマラソン審判長
原　俊介
HARA SYUNSUKE

閉会宣言／大会実行委員長
山田 雅文
YAMADA MASAFUMI

マラソン男子 T34/53/54 優勝

マルセル・フグ
MARCEL E. HUG

マラソン女子 T34/53/54 優勝

土田 和歌子
TSUCHIDA WAKAKO

マラソン男子 T33/52 優勝

佐藤 友祈
SATO TOMOKI

マラソン男子 T51 優勝

ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ

ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝

生馬 知季
IKOMA TOMOKI

ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝

村岡 桃佳
MURAOKA MOMOKA

ハーフマラソン男子 T33/52 優勝

伊藤 竜也
ITO TATSUYA

ハーフマラソン女子 T33/52 優勝

木山 由加
KIYAMA YUKA

ハーフマラソン男子 T51 優勝

清田 慎也
KIYOTA SHINYA

閉会式

入賞者 1. マラソン 男子 T34/53/54・女子 T34/53/54

入賞者 2. マラソン 男子 T51・男子 T33/52

入賞者 3. ハーフマラソン 男子 T33/52・男子 T51・女子 T33/52

入賞者 4. ハーフマラソン 女子 T34/53/54・男子 T34/53/54

第41回大分国際車

THE 41st OITA
THE 41st OITA

大会が終わって

拍手のアーチで選手たちを見送るセレモニー。選手の健闘・無事を運営と観客で祝福するお馴染みだけれど大切な時間。

レースを終えて

十分な感染対策を行わなければならないため、交流会は中止となったが、それぞれ互いの努力をねぎらい合い、暫くのお別れを。

協力者・ボランティア

陸上自衛隊や大分県警をはじめ企業、団体、学校などから集まった約1500人のボランティア。大会の準備、潤滑な運営、万が一の備えのために選手の約10倍の数の人が、選手を支えた。すべては選手を輝かせるため。

陸上自衛隊 別府駐屯地 第41普通科連隊

大分県警察本部交通機動隊

SUZUKI CO.,LTD.
清水建設
公益社団法人 大分県薬剤師会
マルミヤストア
ANA
ANA
JA共済

総合案内所 Information

SONY
HONDA

協力者・ボランティア

オムロン株式会社

車いす修理班

救護班

車いす修理班

ソニー株式会社

本田技研工業株式会社（本田技研労働組合）

三菱商事株式会社

株式会社デンソー

全日本空輸株式会社

ジブラルタ生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

キヤノン株式会社

清水建設株式会社

株式会社ブンゴヤ薬局

東京海上日動あんしん生命

一般財団法人 大分陸上競技協会

協力者・ボランティア

障害者スポーツ指導者協議会

アシストスタッフ

大分東明高等学校

大会事務局

第41回

大分国際車いすマラソン

THE 41st OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON

資料編

第41回大分国際車いすマラソン　概要

●レース概況

第41回大分国際車いすマラソンは、11月20日（日）午前10時、大分県庁前をスタート、ジェイリーススタジアムをフィニッシュとする国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コースで行われた。

当日は心配されていた雨も降らず、海外12か国から25名、国内30都府県から133名、合計158名の選手が出走。うちマラソン41名、ハーフマラソン110名の計151名が完走した。

マラソン男子 T51クラスでは、ピーター・ドゥ・プレア選手（南アフリカ）が従来の世界記録を実に27年ぶりに更新する２時間22分33秒の記録で、大会６連覇を成し遂げた。

最速クラスの T34／53／54では、世界記録保持者のマルセル・フグ選手（スイス）が序盤から独走、４大会連続、通算10回目となる節目の優勝を飾った。

T33／52クラスでは、前大会の覇者である佐藤友祈選手（岡山県）が上与那原寛和選手（沖縄県）とのマッチレースを制し、大会２連覇で４回目の優勝を果たした。

マラソン女子 T34／53／54クラスでは、土田和歌子選手（東京都）がスザンナ・スカロニ選手（アメリカ）、喜納翼選手（沖縄県）との激戦に競り勝ち、１時間37分59秒で７回目の優勝を成し遂げた。

●レース気象状況（大分陸上競技協会／午前10時発表）

・天候　曇り　　・気温　15.5℃　　・風向　南南東　　・風速　1.6m/秒　　・湿度　88％

●レース結果

【マラソンの部】

〔男子〕

T34／53／54クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	マルセル・フグ	スイス	1゜21′10″	
2位	鈴木　朋樹	埼玉県	1゜24′44″	
3位	渡辺　勝	福岡県	1゜29′28″	

T33／52クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	佐藤　友祈	岡山県	1゜49′57″	
2位	上与那原　寛和	沖縄県	1゜50′00″	
3位	クリスチャン・トーレス	コロンビア	2゜03′08″	

T51クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	ピーター・ドゥ・プレア	南アフリカ	2゜22′33″	世界記録、アフリカ記録
2位	エルネスト・フォンセカ	コスタリカ	2゜49′45″	

〔女子〕

T34／53／54クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	土田　和歌子	東京都	1゜37′59″	
2位	スザンナ・スカロニ	アメリカ	1゜38′01″	
3位	喜納　翼	沖縄県	1゜38′11″	

T33／52クラス、T51クラス　　出走者なし

【ハーフマラソンの部】

〔男子〕

T34／53／54クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	生馬　知季	岡山県	0°45′32″	
2位	岸澤　宏樹	大阪府	0°46′43″	
3位	廣道　純	福岡県	0°47′19″	

T33／52クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	伊藤　竜也	福井県	0°55′54″	
2位	ジョナサン・タン	オーストラリア	1°04′26″	
3位	飯嶋　毅洋	大阪府	1°11′34″	

T51クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	清田　慎也	熊本県	1°31′48″	
2位	甲斐　邦生	大分県	2°05′32″	

〔女子〕

T34／53／54クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	村岡　桃佳	岡山県	0°54′10″	
2位	正木　楓	神奈川県	1°03′34″	
3位	棚田　優子	富山県	1°04′29″	

T33／52クラス

順位	氏　名	国・都道府県	記　録	備　考
優勝	木山　由加	岡山県	1°19′59″	

T51クラス　　出走者なし

マラソンの部 表彰者/Prize Winners of marathon

クラス別

⑴女子〈T51〉

出走者なし

⑵男子〈T51〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	★2゜22′33″	41	ピーター・ドゥ・プレア	PIETER DU PREEZ	42	南アフリカ	SOUTH AFRICA
2	2゜49′45″	49	エルネスト・フォンセカ	ERNESTO FONSECA	41	コスタリカ	COSTARICA

※★印は世界記録

⑶女子〈T33／52〉

出走者なし

⑷男子〈T33／52〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1゜49′57″	40	佐藤　友祈	SATO TOMOKI	33	岡山県	JAPAN
2	1゜50′00″	44	上与那原　寛和	UEYONABARU HIROKAZU	51	沖縄県	JAPAN
3	2゜03′08″	52	クリスチャン・トーレス	CRISTIAN EDUARDO TORRES	41	コロンビア	COLOMBIA

⑸女子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1゜37′59″	43	土田　和歌子	TSUCHIDA WAKAKO	48	東京都	JAPAN
2	1゜38′01″	46	スザンナ・スカロニ	SUSANNAH SCARONI	31	アメリカ	U.S.A.
3	1゜38′11″	38	喜納　翼	KINA TSUBASA	32	沖縄県	JAPAN

⑹男子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1゜21′10″	1	マルセル・フグ	MARCEL E. HUG	36	スイス	SWITZERLAND
2	1゜24′44″	2	鈴木　朋樹	SUZUKI TOMOKI	28	埼玉県	JAPAN
3	1゜29′28″	9	渡辺　勝	WATANABE SHO	30	福岡県	JAPAN

ハーフマラソンの部 表彰者/Prize Winners of half marathon

クラス別

⑴女子〈T51〉

出走者なし

⑵男子〈T51〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1°31′48″	390	清田　愼也	KIYOTA SHINYA	28	熊本県	JAPAN
2	2°05′32″	402	甲斐　邦生	KAI KUNIO	52	大分県	JAPAN

⑶女子〈T33／52〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1°19′59″	371	木山　由加	KIYAMA YUKA	38	岡山県	JAPAN

⑷男子〈T33／52〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	0°55′54″	320	伊藤　竜也	ITO TATSUYA	36	福井県	JAPAN
2	1°04′26″	377	ジョナサン・タン	JONATHAN TANG	33	オーストラリア	AUSTRALIA
3	1°11′34″	364	飯嶋　毅洋	IIJIMA TAKEHIRO	44	大阪府	JAPAN

⑸女子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	0°54′10″	415	村岡　桃佳	MURAOKA MOMOKA	25	岡山県	JAPAN
2	1°03′34″	338	正木　楓	MASAKI KAEDE	27	神奈川県	JAPAN
3	1°04′29″	342	棚田　優子	TANADA YUKO	60	富山県	JAPAN

⑹男子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	0°45′32″	302	生馬　知季	IKOMA TOMOKI	30	岡山県	JAPAN
2	0°46′43″	304	岸澤　宏樹	KISHIZAWA HIROKI	26	大阪府	JAPAN
3	0°47′19″	303	廣道　純	HIROMICHI JUN	48	福岡県	JAPAN

マラソン　クラス別順位/Rankings for Marathon in each class

●T51　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	2°22′33″	41	ピーター・ドゥ・プレア	42	南アフリカ
2	2°49′45″	49	エルネスト・フォンセカ	41	コスタリカ

世界記録：ピーター・ドゥ・プレア　(南アフリカ)　2°22′33″　2022　第41回大分国際
日本記録：井上　聡　(愛媛県)　2°30′32″　2006　サン・アントニオ
大会記録：ピーター・ドゥ・プレア　(南アフリカ)　2°22′33″　2022　第41回大分国際

●T51　女子　　出走者なし

●T33／52　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1°49′57″	40	佐藤　友祈	33	岡山県
2	1°50′00″	44	上与那原　寛和	51	沖縄県
3	2°03′08″	52	クリスチャン・トーレス	41	コロンビア
4	2°09′35″	54	ナタン・モラレス・ベラスケス	47	メキシコ
5	2°15′38″	55	ジェロルド・マングリワン	43	フィリピン

世界記録：トーマス・ガイアシュペヘラー　(オーストリア)　1°40′07″　2008　北京パラリンピック
日本記録：上与那原　寛和　(沖縄県)　1°40′10″　2008　北京パラリンピック
大会記録：サンティアゴ・サンツ　(スペイン)　1°43′46″　2007　第27回大分国際

●T33／52　女子　　出走者なし

●T34／53／54　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1°21′10″	1	マルセル・フグ	36	スイス
2	1°24′44″	2	鈴木　朋樹	28	埼玉県
3	1°29′28″	9	渡辺　勝	30	福岡県
4	1°29′36″	5	洞ノ上　浩太	48	福岡県
5	1°29′41″	11	吉田　竜太	41	東京都
6	1°29′41″	18	ユ・ビョンフン	50	韓国
7	1°29′42″	13	吉田　高志	44	大阪府
8	1°30′40″	3	ダニエル・ロマンチュク	24	アメリカ
9	1°34′39″	8	副島　正純	52	長崎県
10	1°36′27″	7	ルイス・フランシスコ・サンクレメンテ	34	コロンビア
11	1°36′27″	16	松永　仁志	50	岡山県
12	1°37′27″	6	武村　浩生	34	福岡県
13	1°37′27″	17	大津　圭介	55	福岡県
14	1°37′30″	23	佐藤　健	39	埼玉県
15	1°41′50″	12	ホセ・プリド	41	アメリカ
16	1°42′42″	21	タイラー・バイヤーズ	40	アメリカ
17	1°45′03″	24	マシュー・クラーク	46	イギリス
18	1°48′08″	22	安岡　チョーク	49	東京都
19	1°49′35″	29	西原　宏明	42	京都府
20	1°50′03″	25	ユン・ヒョンジェ	34	韓国
21	1°55′14″	37	ポール・ナナリ	49	オーストラリア
22	2°01′32″	26	笹原　廣喜	48	大分県
23	2°05′54″	27	藤原　修	59	大分県
24	2°06′00″	28	岩下　啓三	47	熊本県
25	2°06′07″	30	マシュー・デイビス	55	アメリカ
26	2°09′35″	35	馬本　節男	64	広島県
27	2°10′05″	32	細川　一雄	64	富山県
28	2°13′11″	31	海野　剛	47	静岡県
29	2°21′31″	34	ピーター・ホーキンス	58	アメリカ

世界記録：マルセル・フグ　(スイス)　1°17′47″　2021　第40回大分国際
日本記録：鈴木　朋樹　(東京都)　1°18′37″　2021　第40回大分国際
大会記録：マルセル・フグ　(スイス)　1°17′47″　2021　第40回大分国際

●T34／53／54　女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1゜37′59″	43	土田　和歌子	48	東京都
2	1゜38′01″	46	スザンナ・スカロニ	31	アメリカ
3	1゜38′11″	38	喜納　翼	32	沖縄県
4	1゜44′17″	50	ヴァネッサ・クリスティーナ・デ・ソウザ	33	ブラジル
5	1゜55′23″	47	アリネ・ホチャ	31	ブラジル

世界記録：マニュエラ・シャー	(スイス)	1゜35′42″	2019	第39回大分国際
日本記録：喜納　翼	(沖縄県)	1゜35′50″	2019	第39回大分国際
大会記録：マニュエラ・シャー	(スイス)	1゜35′42″	2019	第39回大分国際

ハーフマラソン　クラス別順位/Rankings for Half Marathon in each class

●T51　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1°31′48″	390	清田　愼也	28	熊本県
2	2°05′32″	402	甲斐　邦生	52	大分県

●T51　女子　　出走者なし

●T33／52　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	0°55′54″	320	伊藤　竜也	36	福井県
2	1°04′26″	377	ジョナサン・タン	33	オーストラリア
3	1°11′34″	364	飯嶋　毅洋	44	大阪府
4	1°14′11″	416	服部　周恩	39	滋賀県
5	1°19′31″	376	安野　祐平	32	鳥取県
6	1°24′53″	384	岩上　豪一	59	鳥取県
7	1°26′01″	378	後藤　忠正	67	熊本県
8	1°27′01″	382	関谷　真一	53	宮崎県
9	1°28′23″	385	櫻井　悠也	29	愛知県
10	1°28′24″	383	田澁　寿一	42	大分県
11	1°29′52″	387	小出　公典	49	大分県
12	1°33′36″	391	川久保　一馬	72	佐賀県
13	1°34′05″	412	ロドリゴ ジュニア・ボディオタン	43	フィリピン
14	1°40′10″	394	矢島　一樹	25	熊本県
15	1°44′18″	393	中崎　真	53	鹿児島県
16	1°46′44″	401	西島　健一郎	58	熊本県
17	1°52′43″	399	清原　大輝	18	宮崎県
18	2°00′48″	403	洲鎌　敏美	65	沖縄県

●T33／52　女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1°19′59″	371	木山　由加	38	岡山県

●T34／53／54　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	0°45′32″	302	生馬　知季	30	岡山県
2	0°46′43″	304	岸澤　宏樹	26	大阪府
3	0°47′19″	303	廣道　純	48	福岡県
4	0°47′19″	305	佐矢野　利明	34	大分県
5	0°47′19″	307	佐々木　凜平	26	東京都
6	0°47′23″	311	山口　修平	36	大分県
7	0°50′42″	310	寒川　進	54	京都府
8	0°50′58″	306	ヘン・サヴン	43	カンボジア
9	0°51′00″	325	遠山　勝元	16	東京都
10	0°51′01″	312	渡邉　幹司	45	広島県
11	0°51′03″	315	用田　竹司	46	京都府
12	0°54′07″	317	キム・ビョンフン	18	韓国
13	0°54′09″	318	山本　秀明	46	広島県
14	0°54′10″	322	山口　悟志	66	愛媛県
15	0°54′10″	421	西岡　英治	44	愛媛県
16	0°55′52″	324	馬場　達也	33	東京都
17	0°55′57″	335	大橋　昭文	37	愛知県
18	0°55′57″	347	佐野　純一郎	41	京都府
19	0°55′58″	326	赤木　哲也	47	広島県
20	0°56′32″	332	横田　茂	65	石川県
21	0°56′46″	323	中井　康彦	43	大阪府
22	0°57′11″	424	古畑　篤郎	28	東京都
23	0°58′24″	356	笹原　拓歩	22	神奈川県
24	0°58′29″	337	城　隆志	62	大分県
25	0°58′30″	330	鈴木　俊光	66	静岡県
26	0°58′33″	341	松尾　健次	54	佐賀県
27	0°58′34″	333	大西　慶尚	30	兵庫県
28	0°58′34″	331	渡邉　昭次	45	大分県
29	0°58′35″	339	橋爪　淳	60	神奈川県
30	0°58′35″	368	佐伯　秋浩	55	愛媛県
31	0°59′52″	362	梅澤　ゆとり	56	富山県
32	1°00′08″	426	松永　大護	20	静岡県
33	1°00′09″	319	櫻井　秀彦	45	静岡県
34	1°00′09″	348	飯塚　裕治	49	島根県
35	1°00′15″	328	三浦　智晴	55	大分県
36	1°00′21″	359	八田　カルロス	48	愛知県
37	1°00′38″	340	内賀島　守	61	熊本県
38	1°03′14″	350	内田　琢馬	20	佐賀県
39	1°03′14″	406	小川　昌昭	65	岡山県
40	1°03′24″	425	山本　拓海	22	神奈川県
41	1°04′03″	344	能島　孝洋	40	岡山県
42	1°04′22″	336	越智　高士	30	広島県
43	1°04′51″	413	野村　光義	43	京都府
44	1°04′51″	349	鎌田　成利	40	徳島県
45	1°06′02″	381	木下　大輔	28	宮崎県
46	1°06′27″	354	野田　浩二	55	大分県
47	1°06′53″	346	冨川　文男	70	山口県
48	1°06′54″	327	山崎　正一	63	高知県

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
49	1°08′17″	355	津﨑　裕之	54	熊本県
50	1°09′03″	345	吉川　勇	69	大分県
51	1°09′32″	361	荻堂　盛助	75	沖縄県
52	1°09′46″	370	塩地　優	34	大分県
53	1°09′56″	352	山入端　清宗	70	沖縄県
54	1°09′58″	367	佐藤　隆信	60	大分県
55	1°09′58″	358	前原　彰太朗	32	宮崎県
56	1°10′55″	363	原田　耕一	65	大分県
57	1°11′29″	419	本田　昌士	45	大分県
58	1°11′48″	357	新地　亮平	41	鹿児島県
59	1°12′55″	308	ヴァン・ヴォン	36	カンボジア
60	1°16′24″	353	鬼村　正人	61	島根県
61	1°16′25″	388	荒牧　孝幸	72	広島県
62	1°16′55″	397	山本　行文	68	熊本県
63	1°16′56″	396	高峯　俊	21	熊本県
64	1°18′35″	423	大和田　洋平	32	岩手県
65	1°20′11″	374	井﨑　英明	53	大分県
66	1°20′32″	373	柴田　凌	28	広島県
67	1°22′33″	389	辻野　春翔	17	福岡県
68	1°22′45″	380	外山　哲功	68	宮崎県
69	1°23′19″	316	山本　浩之	56	福岡県
70	1°23′52″	369	酒井　俊二	69	愛知県
71	1°26′24″	414	山口　拓	30	愛知県
72	1°28′24″	375	坂本　悠弥	28	熊本県
73	1°32′39″	372	池田　誠二	53	熊本県
74	1°34′59″	405	堤　福仁	15	宮崎県
75	1°35′38″	411	ハロルド・リラガン	42	フィリピン
76	1°38′25″	407	花水　知明	36	大分県
77	1°38′41″	395	立川　隼	16	大分県
78	1°41′50″	392	吉廣　匡介	59	大分県
79	1°42′04″	398	川添　圭介	38	宮崎県
80	1°45′04″	400	斉藤　竜一	22	大分県
81	2°06′28″	417	園田　久	40	鹿児島県

●T34／53／54　女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	0°54′10″	415	村岡　桃佳	25	岡山県
2	1°03′34″	338	正木　楓	27	神奈川県
3	1°04′29″	342	棚田　優子	60	富山県
4	1°13′10″	360	見崎　真未	20	熊本県
5	1°13′20″	427	中村　来夢	15	東京都
6	1°23′18″	379	片平　留依	29	福岡県
7	1°49′12″	404	西山　美沙希	22	大分県
8	2°01′09″	418	吉川　葉都美	49	茨城県

大分国際車いすマラソン大会記録集（クラス別歴代１位）

【マラソン】

クラス	タイム	氏　名	国／都道府県	年	大　会
T34／53／54	1°17′47″	マルセル・フグ	スイス	2021	第40回記念大会
T33／52	1°43′46″	サンティアゴ・サンツ	スペイン	2007	第27回大会
T51	2°22′33″	ピーター・ドゥ・プレア	南アフリカ	2022	第41回大会

【ハーフマラソン】

クラス	タイム	氏　名	国／都道府県	年	大　会
T34／53／54	43′46″	渡辺　勝	福岡県	2016	第36回大会
T33／52	53′10″	佐藤　友祈	静岡県	2014	第34回大会
T51	1°04′09″	三浦　尊	愛知県	1999	第19回大会

※大会記録は「大分国際車いすマラソン」の記録です。

第41回大分国際車いすマラソン　国、都道府県別の出走者数

The 41st Oita International Wheelchair Marathon The Number of Participants of Countries &Territories

国内参加者

Japanese Participants

都道府県名 Prefecture	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total		
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
北海道							
青森県							
岩手県			1		1		1
宮城県							
秋田県							
山形県							
福島県							
茨城県				1		1	1
栃木県							
群馬県							
埼玉県	2				2		2
千葉県							
東京都	2	1	5	1	7	2	9
神奈川県			3	1	3	1	4
新潟県							
富山県	1		1	1	2	1	3
石川県			1		1		1
福井県			1		1		1
山梨県							
長野県							
岐阜県							
静岡県	1		3		4		4
愛知県			5		5		5
三重県							
滋賀県			1		1		1
京都府	1		4		5		5
大阪府	1		3		4		4
兵庫県			1		1		1
奈良県							
和歌山県							
鳥取県			2		2		2
島根県			2		2		2
岡山県	2		3	2	5	2	7
広島県	1		6		7		7
山口県			1		1		1
徳島県			2		2		2
香川県							
愛媛県			3		3		3
高知県			1		1		1
福岡県	4		5	1	9	1	10
佐賀県			3		3		3
長崎県	1				1		1
熊本県	1		10	1	11	1	12
大分県	2		20	2	22	2	24
宮崎県			7		7		7
鹿児島県			3		3		3
沖縄県	1	1	4		5	1	6
計	20	2	101	10	121	12	133
	22		111				

海外参加者
Foreign Participants

国または地域名 Country & Territory	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total		
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
オーストラリア (AUSTRALIA)	1		1		2		2
ブラジル (BRAZIL)		2				2	2
カンボジア (CAMBODIA)			2		2		2
コロンビア (COLOMBIA)	2				2		2
イギリス (GREAT BRITAIN)	1				1		1
韓国 (KOREA)	2		1		3		3
メキシコ (MEXICO)	1				1		1
フィリピン (PHILIPPINES)	1		2		3		3
南アフリカ (SOUTH AFRICA)	1				1		1
スイス (SWITZERLAND)	1				1		1
アメリカ (U.S.A.)	5	1			5	1	6
コスタリカ (COSTARICA)	1				1		1
計	16	3	6	0	22	3	25

参加者（種目集計）
Participants

参加者数 Participants	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
国内 Japanese Participants 30都府県	20	2	101	10	121	12
	22		111		133	
海外 Foreign Participants 12か国・地域	16	3	6	0	22	3
	19		6		25	
合計 Total 13か国・地域	36	5	107	10	143	15
	41		117		158	

第41回大分国際車いすマラソン　実施要綱

1　目　的

この大会は、日本国内及び外国・地域の身体に障がいのある方が車いすマラソンを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く県民が障がいのある方についての関心と理解を深めることを目的とする。

2　名　称

第41回大分国際車いすマラソン

3　主　催

大分県、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会

4　公　認

世界パラ陸上競技連盟（World Para Athletics）

（この大会は、WPA Approved Event として公認されている。マラソンについては、国際パラリンピック委員会（IPC）選手ライセンス登録が完了し、かつ国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、WPA の公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、WPA の公認対象ではない。）

5　主　管

一般財団法人大分陸上競技協会

6　共　催

株式会社大分放送

7　後　援

外務省、厚生労働省、スポーツ庁、大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人大分県スポーツ協会、一般社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、公益社団法人大分県理学療法士協会、NHK 大分放送局、株式会社テレビ大分、大分朝日放送株式会社、株式会社エフエム大分

8　協　賛

オムロン株式会社、ソニーグループ株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、株式会社富士通エフサス、富士通株式会社、新日本製薬株式会社、医療法人社団唱和会明野中央病院、株式会社大分銀行、株式会社九電工、キヤノン株式会社、株式会社シップス、ジブラルタ生命保険株式会社、清水建設株式会社、公益社団法人大分県薬剤師会、株式会社マルミヤストア、全日本空輸株式会社、全国共済農業協同組合連合会、株式会社別大興産、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、鬼塚電気工事株式会社、ファイテン株式会社、株式会社コンカー、公益財団法人笹川スポーツ財団、日本郵便株式会社、ヤフー株式会社、西日本電信電話株式会社、社会福祉法人わかば会清流の郷、株式会社オートバックスセブン、株式会社ブンゴヤ薬局、株式会社スズキ、新星工業株式会社、日本赤十字社大分県支部、株式会社大鐵、株式会社フジタ、株式会社ホームインプルーブメントひろせ、トランス・コスモス株式会社、株式会社安川電機、株式会社モリサワ、社会福祉法人暘谷福祉会、第一交通産業株式会社、大分第一ホーバードライブ株式会社

9　協　力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、国立大学法人大分大学、別府重度障害者センター、社会医療法人恵愛会大分中村病院、医療法人社団唱和会明野中央病院、大分市医師会立アルメイダ病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県障害者スポーツ指導者協議会

10　日　時

令和４年11月19日（土）

９時00分～12時00分	選手受付	（大分県庁舎）
９時30分～14時00分	クラス分け	（ジェイリーススタジアム）
14時15分～15時00分	オープニングイベント	（お部屋ラボ祝祭の広場）
15時15分～15時45分	有力選手記者会見	（お部屋ラボ祝祭の広場）
16時00分～16時30分	開会式	（お部屋ラボ祝祭の広場）

令和４年11月20日（日）

８時00分～９時20分	手荷物・生活用車いすの受付	（大分城址公園）
８時00分～９時20分	競技用車いすの検定、ロゴチェック	（大分城址公園）
８時00分～９時25分	ウォームアップ	（大分市役所周辺）
９時25分～９時45分	プレラインアップ	（大分市役所東側）
10時00分	マラソンスタート	（大分県庁前）
10時03分	ハーフマラソンスタート	（大分県庁前）
13時20分～	閉会式・表彰	（ジェイリーススタジアム）

11　大会開催の基準等

⑴大会開催の目安となる基準（新型コロナウイルス感染症に係る部分）

別に定める「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」（随時改訂）の規定に基づき、下記①から③までの全ての基準を満たす場合にレースを開催する。

①本県に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されていない又はまん延防止等重点措置区域に指定されていないこと

②大分県知事が飲食店等に対する休業要請や時短要請を行っていないこと

③政府が定める感染状況に関する各種基準等、その他の要素を総合的に勘案し、大会の開催が可能であると判断できること

⑵大会開催の基準（自然災害等に係る部分）

大会中止基準及び緊急時の対応等は、「第41回大分国際車いすマラソン危機対応マニュアル」に基づき対応する。

なお、雨天時においても原則として競技を実施する。

12　実施種目及びコース

マラソン　（42.195km）

大分市内（国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コース）

ハーフマラソン（21.0975km）

大分市内（国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コース）

13　参加資格

令和４年11月20日現在、満14歳以上の者で下記の条件を満たす者とする。

【マラソン】

①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本パラ陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者

②外国・地域選手については、車いす使用者、かつ各国の国際パラリンピック委員会に加盟した団体、又はそれに該当する団体に登録した者で、主催者が認定した者

【ハーフマラソン】

①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者

②外国・地域選手については、車いす使用者で、主催者が認定した者

（注意／下記は新型コロナウイルス感染症の感染状況により今後変更がありうる）

※その他、選手、介助者及び競技運営関係者（競技役員、ボランティア等）（以下、「選手及びスタッフ等」とする。）の大会への参加等を認める基準

選手及びスタッフ等については、下記①から③までの基準に１つでも該当する場合、参加を認めない。

①体調管理チェックシート（選手は原則専用アプリを利用）を使用し大会前７日間の体調確認が行うことができない場合

②体調管理チェックシート等において、直近７日間の間に感染疑い症状が見られる場合

③大会当日（スタッフ等においては業務従事当日）時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者

④大会当日（スタッフ等においては業務従事当日）の受付において実施する検温において、37.5度以上または平素の体温よりも高いと認められる場合

⑤大会前及び当日に実施する新型コロナウイルス検査において「陽性」の判定を受けた場合

14　参加料

マラソン5,000円、ハーフマラソン1,000円とする。

※エントリー後、大会が中止になった場合は、振込手数料を除いた参加料を選手へ返金する。

15　競技規則

World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則）及び別に定める本大会競技注意事項等による。

参加するすべての選手に WPA 競技規則の広告に関する規程が適用される。

16　クラス分け

⑴マラソン、ハーフマラソンとも、T51、T33/52、T34/53/54の３クラスに分ける。

⑵クラス分けが必要な選手については、ジェイリーススタジアムにおいて判定する。

なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、WPA の国際クラスとしては承認されるものではない。

17　ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

18　表　彰

⑴マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に１位から３位を表彰する。

⑵マラソンにおいて一定以上の成績をあげた選手に対して、賞金を授与する。金額については、別に定める。

⑶順位決定及び賞金の授与には、WPA における公認や選手登録の有無は影響しない。

19　申込方法

申込方法は以下のいずれかとする。

①公式ホームページの電子エントリーフォームによる申込み。

②参加申込書に必要事項を明記し、顔写真２枚を添付の上、大会事務局あて郵送またはメールにて送付する（当日消印有効。なお、メールによる参加申込書の送付の場合は、顔写真の画像ファイルを１枚添付すればよい）。

※①、②ともに、参加申込みの締切は、令和４年８月31日（水）までとする。

20　競技中の事故

競技中の事故により負傷した場合、応急処置は主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする（健康保険証を持参すること）。

21　観戦及び応援　※今後の状況により変更となる場合がある。

⑴新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、観戦及び応援（レース及び開会式・記者会見を含む）にあたっては、マスクを着用し、フィジカルディスタンスを確保のうえ観戦及び応援を可能とする。

⑵フィニッシュ地点（ジェイリーススタジアム内）での一般観戦者及び応援者は、選手及び競技役員等関係者と動線を分けたうえで、定められたエリアでの応援を可能とする。

22　健康管理

選手及びスタッフ等の健康管理については、「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」（随時改定）の規定に基づき、適切に実施する。

23　選手及び競技運営関係者を対象とする保険への加入

⑴競技中の事故等に備え、主催者において、選手及びスタッフ等を対象とする保険に加入する。保険の内容については、別途示すこととする。

⑵主催者は、選手及びスタッフ等が、新型コロナウイルス感染症等に感染した場合にあってはいかなる責任も負わないこととする。

24　個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は個人情報保護に関する法令を遵守する。

なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表、感染予防対策、並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

25　大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内、大分県障がい者スポーツ協会に置く。

所　在　地　〒870-8501
大分市大手町３丁目１番１号
電話番号　097-533-6006
ＦＡＸ　097-506-1736
第41回大分国際車いすマラソン事務局メールアドレス
kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
第41回大分国際車いすマラソンホームページ URL（アドレス）
https://kurumaisu-marathon.com

第41回大分国際車いすマラソン　危機対応マニュアル

Ⅰ　趣旨

このマニュアルは、第41回大分国際車いすマラソンの中止基準及び緊急事案発生時の対応について、大会本部、関係者の対応に必要な事項を定めるものとする。

Ⅱ　大会中止基準

⑴大分地方気象台が、大分市に警報（大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮）を発表したとき又は発表するおそれがあるとき。
⑵県内で震度５強以上の地震を観測し、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
⑶県内に津波警報（大津波）が発表され、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
⑷その他の災害で大分県に災害対策本部が設置されたとき。
⑸コース上で大規模な事故、事件、火災、ガス漏れ、水道管破裂、道路陥没、停電等により、レース運営に支障を来す事案が発生したとき。
⑹全国瞬時警報システム（Ｊアラート）が発令され安全確保ができないとき。
⑺国内で大災害が発生したとき、又は社会的に大きな事件等が発生したとき。
⑻ただし、上記⑴～⑺の場合であっても、大会会長が実施可能と判断し、大会を開催する場合がある。

Ⅲ　判断方法（レース前）

大会事務局により、下記の日程で開催検討会議を逐次実施し開催の可否について検討する。

なお、検討にあたっては、大会技術代表及び競技役員総務の意見を反映すること。

①　レース７日前
②　レース前日　　午前10時
③　レース当日　　午前４時

最終決定は開催検討会議の結果をふまえ、大会会長が判断する。

Ⅳ　緊急事案発生時の対応

大会期間中に緊急事案が発生し、又は発生するおそれがある場合は、大会本部及び関係者において、事態に対処するものとする。

⑴想定される緊急事案の種類

事案の態様	種　別
自然災害	①風雨 ②地震 ③津波 ④噴火 ⑤その他大規模な災害
大規模な事件	⑥弾道ミサイル発射 ⑦爆破 ⑧無差別テロ ⑨毒劇物散布（異臭騒ぎ含む） ⑩各事案の予告 ⑪不審物（者）の発見
大規模な事故	⑫爆発 ⑬火災 ⑭ガス漏れ ⑮水道管破裂 ⑯道路陥没 ⑰停電

⑵対処行動

緊急事案が発生した場合は、迅速かつ的確に以下の措置を講ずる。

ア　大会関係者等への情報伝達と避難準備

大会本部は大会関係者等に対し、発生した緊急事案を正確に伝えるとともに、混乱をきたさないよう、場内放送、無線及び携帯電話による周知、大会協力者の口頭、その他あらゆる手段により、大会関係者等に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

イ　選手及び観客への情報伝達と避難準備

緊急車両、最終通告車等によるアナウンス並びにコース付近での大会協力者の口頭など、その他あらゆる手段により選手及び観客に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

ウ　救護活動

負傷者が発生した場合は、可能な範囲で身元確認に努めるとともに、安全な場所に誘導し、到着した消防（救急隊）に引き継ぐものとする。

エ　避難誘導及び残留者の確認

避難誘導に際しては、避難行動の支障となる物品を撤去し、安全確保対策を行うとともに、自らの行動に制約のある障がい者、乳幼児等、避難行動要支援者に配慮を行いながら、誘導するものとする。

なお、避難誘導中に負傷者又は逃げ遅れた者を発見した場合は、大会関係者が相互に連携し、救護又は誘導に努めるとともに、対応が不可能と判断した場合は、速やかに警察・消防に引き継ぐものとする。

オ　スタート後のレース中止による選手の収容

コース上の選手を収容し、収容車ほかコース配置車両を総動員してジェイリーススタジアム又は大会本部が指定する場所に帰着させる。

第41回大分国際車いすマラソン競技注意事項

本大会は、World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則）及び競技注意事項等により実施する。

■競技注意事項

1　本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
2　マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし、時間差は３分とする（男女共通）。
3　競技者は、衣類及び車いすについて、WPA 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。
4　競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
5　競技者は競技役員の許可を得て、かつその監督下にある場合は、コースを離れたことにより走行距離が短くならないことを条件に示されたコースを離れることができる。
6　本大会では、種目（マラソン・ハーフマラソン）、クラス又は性別の異なる選手の背後を５ｍ以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。
7　競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
8　競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。
ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準(スネル規格 b-84/90/95、BSI6863、EN1078等)を満たしていなければならない。
9　競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。
10　競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可するが、修理に必要な器具等の提供、貸与は行わない。
11　審判長または医師から中止を命じられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
12　競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
13　競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面又はトラックに接触してはならない。
14　クラス分けについては、別紙の国際クラス分け表による。
15　本大会では、ドーピング検査を実施する。
16　関門の制限時間を次のとおり設ける。
（マラソンの部）
第一関門（約３km）……19分00秒
15km地点……１時間00分00秒
25km地点……１時間45分00秒
35km地点……２時間25分00秒
フィニッシュ地点……３時間00分00秒
（ハーフマラソンの部）
第一関門（約３km）……19分00秒
10km地点……57分00秒
15km地点……１時間27分00秒
フィニッシュ地点……２時間07分00秒
制限時間を超えた競技者は、関門に到達していなくても、直ちに収容車に収容する。
17　水の供給については、次のとおりとする。
⑴　給水所を次のとおり設ける。
マラソンの部……７km（26km地点を兼ねる）、13km（31kmを兼ねる）、18km（36km地点を兼ねる）地点付近
ハーフマラソンの部…７km、13km地点付近
⑵　主催者が用意するものは水だけとし、その他の飲料は用意しない。
⑶　競技者は、主催者が設けた各給水所以外で他人から飲食物やスポンジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員の介助を受けてもよい。
⑷　各給水所にて、競技者に対する霧吹きによる水の噴霧を行う。
希望する競技者は各給水所にて競技役員に申し出ることとし、噴霧は競技役員が行い、各給水所以外の場所では行わない。
18　車いすについては、次のとおりとする。
⑴　車いすは２つの大きな車輪と１つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
⑵　すべての車いすは、安全の目的から、機能的な（制動制御）ブレーキシステムを備えていなくてはならない。
⑶　車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ていてはならず、さらにフレームおよびその付属品の幅はリムの傾斜面より広くてはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは、50㎝以内とする。
⑷　車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ていてはならない。
⑸　後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70㎝、50㎝を超えてはならない。
⑹　各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ１つ付けることができる。
ただし、この規則は選手受付時に実施するクラス分けの結果と技術代表の判断があれば、片腕で車いすを操作する競技者のためにこの規則を変更できる。
⑺　車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。
⑻　トラック及び道路競技ではミラーの使用を禁止する。
⑼　機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認める。
⑽　競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。
⑾　フェアリングの使用又は空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。

⑿ 車いすは招集場で測定を受ける。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
⒀ 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
⒁ 車いす後部に転倒防止を目的としたキャスターの取り付けについて、ハーフマラソンに出場する T51クラスのみ、取り付けを認める。

19 アスリートビブス（旧ナンバーカード）について
アスリートビブスは配布された形で着用しなければならず、切ったり折りたたんだりあるいはいかなる方法でも見えなくしてはならないが、風通しをよくする目的で、文字や数字の部分を避けて穴をあけることは可能とする。

20 撮影機器について
競技者は、競技区域内に小型カメラ、携帯電話等の撮影が可能な機器(静止画、動画問わず)を持ち込んではならない。競技区域内とは、ウォーミングアップ区域及びプレラインアップからフィニッシュエリア(芝生内)までの区域を指す。

21 下記については、助力行為とみなさずに許可する。
身体保護及び／あるいは医療目的のあらゆる身体保護具。（包帯、絆創膏、ベルト、支持具、冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸器具。）
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他類似の機器。ただし、他者との通信に使用不可能なものに限る。

（別紙）国際クラス分け表

T51

このクラスの選手は通常、肘関節屈曲、手関節背屈の筋力がグレード５あり、肩関節の筋は筋力低下がみられ、特に大胸筋や上腕三頭筋の筋力はグレード０～３である。通常、体幹の筋力は機能しない。

肘関節の屈筋と、手関節の背屈筋を用いて駆動する。膝の上に顎を置いて、体幹を真っすぐにして座っている。脊髄損傷の神経残存レベルＣ５－６レベルと同等の活動制限がある。

T33/52

T33

四肢麻痺、三肢麻痺、重度の片麻痺-中等度（非対称性または対称性）の四肢麻痺、またはより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な筋力があり車いすを使用する重度の片麻痺。選手がより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な機能を持つ片麻痺か三肢麻痺の状態を呈しない限り、このクラスにアテトーゼの選手が含まれることは稀である。自立して車いすを推進することができる。

上肢－少なくとも障害のある上肢は伸展とフォロースルーの制限がある痙性グレード２の中等度の制限。障害のある手が円筒状と球状の握りを示すことがある。

体幹－車いすを力強くプッシュする時、前方への体幹の動きは、伸展痙性によってしばしば制限される。痙性グレードは２。

下肢－痙縮グレード３～４。いくつかの明らかな機能が、トランスファー時に観察することができる。介助または歩行支援用具を使って歩行ができるかもしれないが、短距離のみである。

T33と T34の違いは、車いす駆動時の体幹の動きと、手の機能が重要である。もしも、駆動動作時に、すばやい体幹運動を使うこと、または上肢運動の明らかな非対称性、もしくは握りとリリースに非常に貧しい能力を示した場合は、クラス T33である。

片上肢で車いすを駆動する場合、ロングストロークや素早い握り、リリースを行っていても、T33である。

T52

このクラスの選手は通常、肩・肘・手関節の筋力は正常である。手指屈伸筋力は手内筋の萎縮を伴って正常ではない。駆動には肩・肘・手関節を用いている。通常、体幹筋力は機能しない。T53、T54のクラスと同じようなグローブテクニックを用いる場合もある。脊髄損傷の神経残存レベルＣ７－８と同等の活動制限がある。

T34/53/54

T34

両麻痺－中等度から重度。上肢と体幹の障害（制限と問題）は最小限で機能は良好。

上肢－上肢は、多くの場合、正常の機能を示す。関節可動域の最小限の制限があるが、ほぼ正常なフォロースルーが可能で、投げたり、駆動もほぼ正常である。手の機能は正常で、すべてのスポーツで見られるように、つかみやすい握りが可能である。制限があるとすれば、早く細かい運動で見られる。両麻痺は上肢よりも下肢の方がより痙性が強い。痙性グレード１～２。手、上肢、体幹を機能的に動かすことが可能である。

体幹－痙縮グレード１～２。車いす駆動時の体幹の動きは最小限の制限。いくつかの選手は疲労で痙性が増強することもあるが、適切なポジショニングで克服することができる。立位時、バランスは補助器具を使用しても不良（poor）である。

下肢－中等度から重度。両下肢とも痙性グレードは３～４。通常、補助具を使用せずに長距離歩行はできない。車いすの駆動では長く、力強い駆動、素早い把持とリリースが可能である。しかし、手の細かい動きが影響を受けるかもしれない。駆動時に、これらの細かな動きは必須ではない。体幹の前方および後方の強い動きは、上肢のストロークをサポートしている。これらの体幹運動が起こらない場合には、体幹はバランスが取れており、上肢の動きのための安定性を提供している。車いすは曲線を走行する時、体幹はバランスを崩すことはない。

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋と下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベルＴ１－７と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベルＴ８－Ｓ４レベルと同等の活動制限がある。

（※）上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。
http://jaafd.org/contents/code/committee3

【第41回大会役員】(Executive Committee Members)

大会会長	大分県知事		広瀬勝貞
副会長	大分県副知事		吉田一生
副会長	公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会	会長	森　和之
副会長	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	会長	増田明美
副会長	大分市長		佐藤樹一郎
副会長	大分合同新聞社	代表取締役社長	長野景一
副会長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	会長	草野俊介
副会長	大分県障がい者スポーツ協会	会長	草野俊介
顧　問	オムロン株式会社	代表取締役社長 CEO	山田義仁
顧　問	一般財団法人大分陸上競技協会	会長	小手川強二
顧　問	株式会社大分放送	代表取締役社長	猪俣知三
顧　問	大分県教育委員会	教育長	岡本天津男
顧　問	大分市教育委員会	教育長	佐藤光好
顧　問	公益財団法人大分県スポーツ協会	会長	麻生益直
顧　問	一般社団法人大分県身体障害者福祉協会	会長	佐藤一夫
顧　問	社会福祉法人大分合同福祉事業団	理事長	長野　健
顧　問	社会福祉法人太陽の家	理事長	山下達夫
顧　問	大分県警察本部	本部長	種田英明
顧　問	陸上自衛隊第41普通科連隊	連隊長	中村英昭
参　与	大分県土木建築部	部長	島津惠造
参　与	大分県警察本部交通部	部長	渡邉豊士
参　与	大分市土木建築部	部長	吉田健二
参　与	公益財団法人日本パラスポーツ協会	常務理事	藤原正樹
参　与	大分合同新聞社	取締役新聞事業本部長	児玉真路
参　与	別府重度障害者センター	所長	白浜　一
委員長	大分県福祉保健部	部長	山田雅文
副委員長	大分市福祉保健部	部長	斉藤修造
副委員長	大分合同新聞社	上席執行役員マーケティング統括局長	青木貴史
副委員長	一般財団法人大分陸上競技協会	専務理事	稲津喜英
委　員	大分県教育庁	体育保健課長	佐保宏二
委　員	大分県警察本部交通部	交通規制課長	河野康成
委　員	大分県警察本部交通部	交通機動隊長	髙倉智勝
委　員	大分中央警察署	署長	矢野哲幸
委　員	大分東警察署	署長	福岡弘毅
委　員	大分市福祉保健部	障害福祉課長	田崎　敢
委　員	大分市企画部スポーツ振興課	次長兼スポーツ振興課長	村田　潤
委　員	大分合同新聞社	マーケティング統括局イベント事業部長	天崎宏一
委　員	株式会社大分放送	営業局長兼テレビ営業部長	森永尚史
委　員	一般財団法人大分陸上競技協会	総務委員長	原　俊介
委　員	大分県障害者スポーツ指導者協議会	会長	池部純政
委　員	別府重度障害者センター	運動療法士長	木畑　聡
委　員	社会福祉法人太陽の家	健康支援課長	池部純政
委　員	大分身体障害者陸上競技協会	会長	久保しのぶ
委　員	通訳ボランティア Can−do	代表	後藤恵子
委　員	大分中村病院	リハビリテーション科統括部長	黒木洋美

【世界パラ陸上競技連盟】(World Para Athletics)

Technical Delegate（技術代表）宮田　英明（WPA 派遣）

【競技役員】(Race Officials)

（◎は主任）

総務	稲津　喜英			
総務員	田崎　弘宣	原　俊介	上杉　貴志	森　幹生
	泥谷　和幸	古庄　英之	安部　明美	石橋　壽利
JPA－NTO	吉田　徹（JPA 派遣）	山下　和行（JPA 派遣）		
技術総務	◎円本　宗秋	石橋　壽利	泥谷　和幸	
国際道路コース計測員	因　広道（JAAF 派遣）			
ジュリー	吉田　徹（JPA 派遣）	岡松　眞明	下城　重喜	榮木　一
	船越　武典			
審判長	田崎　弘宣（マラソン）	原　俊介（ハーフ）		
監察員	◎廣末　敬（JTOs）			
	渡邊　仙蔵（監察車①）	小山　建（監察車①）	森﨑　宣和（監察車②）	渕　俊伸（監察車③）
	草場　真二（監察車④）	阿南　憲治（監察車⑤）	金丸　和浩（監察車⑥）	桑原　昇造（監察車⑦）
	染矢　睦（監察車⑧）	佐藤　敏郎（監察車⑨）		
決勝審判員兼出発係	◎堤　紘一（マラソン）	西村　義弘	石川　康壽	川野奈緒美
	◎石井知由美（ハーフ）	松崎　安男	野田　浩	日野　滉子
計時員兼出発係	◎栗林　敏勝（マラソン）	田中　義博	井上　啓司	高橋孝一郎
	◎増村　栄彦（ハーフ）	財津　廣記	三上　忠明	甲斐　浩嗣
写真判定員	◎志賀　哲哉	三代　照良		
トランスポンダー	◎渡邊　健太	長野雄一郎		
スターター	◎田中　繁	瀧口登志朗		
記録員	◎工藤　啓記	中畑千恵子	鳩野　美沙	
報道係	◎大西　竜一	德光　久	竹丸由香里	神矢　恵美
競技者兼出発係	◎坂本　智美（マラソン）	山西　敏晴	安東　寿子	梶原　清美
	大成　千草	下田　法子		
	◎三宅美智子（ハーフ）	財津美紀夫	仲摩　勝春	阿部　光佳
	園田　明美	柳井　幸子		
外国人競技者係	◎丸尾　直彦	衛藤　昭	長野由美子	清家　直一
気象計測員	◎橋本　孝之	羽田野二郎		
役員係	◎安部　明美	藤井　宗隆	小間　敏子	内田　貞美
	首藤　麻希			
マーシャル	◎中野　明美	柴北　育昌	佐藤　愼司	河野　勝彦
	西　親則	中村　政子	中村　健治	中野　実希
	古屋　秀文			
用器具係	◎柴山　広	大戸　功雄	森本　秀治	
収容者係	◎江藤　輝幸	日名子義生	三嶋　一哲	吉原誠一郎
	大成　忍			
医務係	◎坂本真由美	吉川　弥生	中野　実咲	梶原　進一
庶務係	◎中西　千夏	川上　愛佳	堀田　幸忠	簣河原　幹
放送係	◎三代　寿子	末延　栞		
ドーピングコントロールオフィサー	◎青木　哲哉	西　竜二郎	中野功一朗	河野　昇治
	中野　裕子	勝山　直美		
シャペロン	◎伊東　清信	首藤　昭光	日髙　千紘	
医療統括責任者	黒木　洋美（社会医療法人恵愛会　大分中村病院　リハビリテーション科統括部長）			
クラス分け委員（JPA 派遣）	池部　純政	横前　直樹	高原由美子	浅沼　満
	植原　史恭	松本　砂希	武谷　裕里	倉澤　哲
	廣川　知子	安藤芽久美	中村　義和	

関門役員

マラソン第一関門	◎小俣賢二郎	上久保　晃		
ハーフ第一関門	◎後藤　和久	渡邉　和也		
マラソン5km	◎川下喜代人	平山　勝治		
ハーフ5km	◎宅野　成喜	濱崎義日出		
第一・第三折返し点	◎大戸　貴博	藤田　義昭	重藤　幸子	
マラソン10km	◎山本　豊	坂巻　諄	井上　達夫	
ハーフ10km	◎諸田　義信	後藤　信徳	川野　恵子	
ハーフ第二折返し点	◎由迫　英恭	竹内　邦弘	白石　尚輝	
マラソン15km	◎甲斐　強	判田　剛	菅田　俊介	財津　高喜
ハーフ15km	◎村西　栄二	飛田　祥子	後藤　信介	高瀬　政寛
マラソン20km	◎吉川　正文	須磨　長憙	井上淳之助	新宮　眞二
ハーフ20km	◎杉本　和之	佐藤　晃	中島　英利	工藤　武子
マラソン中間点	◎鳥倉　秀聖	戸曽　正博		
マラソン25km	◎明石　敦郎	長峰　徳幸	後藤　大輔	浅野佳代子
マラソン第二・第四折返点	◎小野　千里	鳴海きくみ	河津　智顕	後藤　賢也
マラソン30km	◎足立　達哉	東本　孝	近藤めぐみ	立川三枝子
マラソン35km	◎板井　新一	松浦　利美	奥下　美保	柴田　順子
マラソン40km	◎櫻井　貢	上久保陽子	工藤　早苗	川村　英子

給水係

◎宮脇　清夫

7km・26km	◎横濱　正	梶原　五男	矢幡　俊典
13km・31km	◎小野　浩之	竹島　大喜	
18km・36km	◎武石　弘志	武内　三朗	吉村　孝義

走路審判員

◎宮川喜久生

スタート地点付近	○後藤　博文		
	宮川喜久生	小林　臣将	姫野　昭彦
	川野　真里	熊谷　明	後藤　博文
	楢木野愛理	古木　春名	石丸　玲子
	古屋　律子	首藤　知昭	山口　美利
	後藤　修一		
農業会館南交差点付近	飯干　順一		
舞鶴橋西交差点-舞鶴橋	酒井　宏		
舞鶴東交差点-中津留一丁目交差点	髙野　留美	桃田　結香	
花津留一丁目交差点	佐藤　重康	隅田　智之	
乗越交差点	原田　枝美	副田　博文	
平和市民公園先交差点	佐藤　陽子	松浦　良一	
西中浜交差点	赤崎　惣	仲摩　昇	
運輸支局前交差点	川上　末喜	佐藤　留雄	
ジェイリーススタジアム入口交差点	宮川喜久生（兼）	小林　臣将（兼）	
ジェイリーススタジアム第四ゲート	姫野　昭彦（兼）	川野　真里（兼）	熊谷　明（兼）
	後藤　博文（兼）	楢木野愛理（兼）	古木　春名（兼）
	石丸　玲子（兼）	首藤　知昭（兼）	
中島十条交差点	後藤こずえ		
新川交差点	黄　愛	高司　龍二	
浜町交差点	岩尾　雅弘	渡辺　利彦	
春日浦交差点	畑野　新司	岳尾　元勝	
王子町交差点	山田　義高		
王子折返し	倉野　浩成	山路　康弘	
日本製鐵前交差点	髙瀬　亮太	新貝　隆	
三海橋（ハーフ折返し）	黄　壮大	小野　長次	板井　朗
三海橋東交差点	髙瀬　哲生		
三佐田交差点	後藤　憲行		
家島橋手前（マラソン折返し）	油布　晋一	首藤　晴美	久保　裕治

走路審判補助員

◎山内　秀人

スタート地点付近	○小野　覚	池田　秀信	岩本　照子
	小野あさ枝	阿部美紀子	小野　寿永
	久々宮英輝	後藤　裕	佐藤　文男
	百武　正伸	匹田　忠	久枝　静夫
	房前　秀治	宮城　正弘	宮崎　早苗
	森川　洋明	山内　秀人	山田　等
	山根　義弘	渡辺　朝則	

第41回大分国際車いすマラソンスケジュール

時　刻	11月19日（土）	11月20日（日）
8:00		00 **ウォームアップ**
9:00	00 **選手受付** ※クラス分け不要（大分県庁舎本館） 30 **選手受付・クラス分け** ※クラス分け要（ジェイリーススタジアム）	25　選手整列開始 40　交通規制開始 57　スタート地点整列完了
10:00		00 **マラソンスタート** 03 **ハーフマラソンスタート** 45　ハーフ　トップフィニッシュ見込
11:00		20　マラソン　トップフィニッシュ見込
12:00	00	10　ハーフ　フィニッシュ地点閉鎖
13:00		00　マラソン　フィニッシュ地点閉鎖 20 **閉会式(表彰式)**（ジェイリーススタジアム）
14:00	00 15 **オープニングイベント**（お部屋ラボ祝祭の広場）	20
15:00	00 15 **有力選手記者会見**（お部屋ラボ祝祭の広場）	
16:00	45 00 **開会式**（お部屋ラボ祝祭の広場）	
17:00	30	
18:00		

開会式次第

令和４年11月19日（土）お部屋ラボ祝祭の広場

時　刻	式　次　第	備　　考
14：15	オープニングイベント	クロストーク「インクルージョンが未来を拓く」
16：00	開式通告	ファンファーレ
16：01	大会会長あいさつ	大会会長　大分県知事　広瀬勝貞
16：06	地元市長あいさつ	大会副会長　大分市長　佐藤樹一郎
16：11	来賓あいさつ	
16：16	主催者・来賓紹介	
16：19	選手宣誓	
16：24	閉式通告	

スタート次第

令和４年11月20日（日）大分県庁前

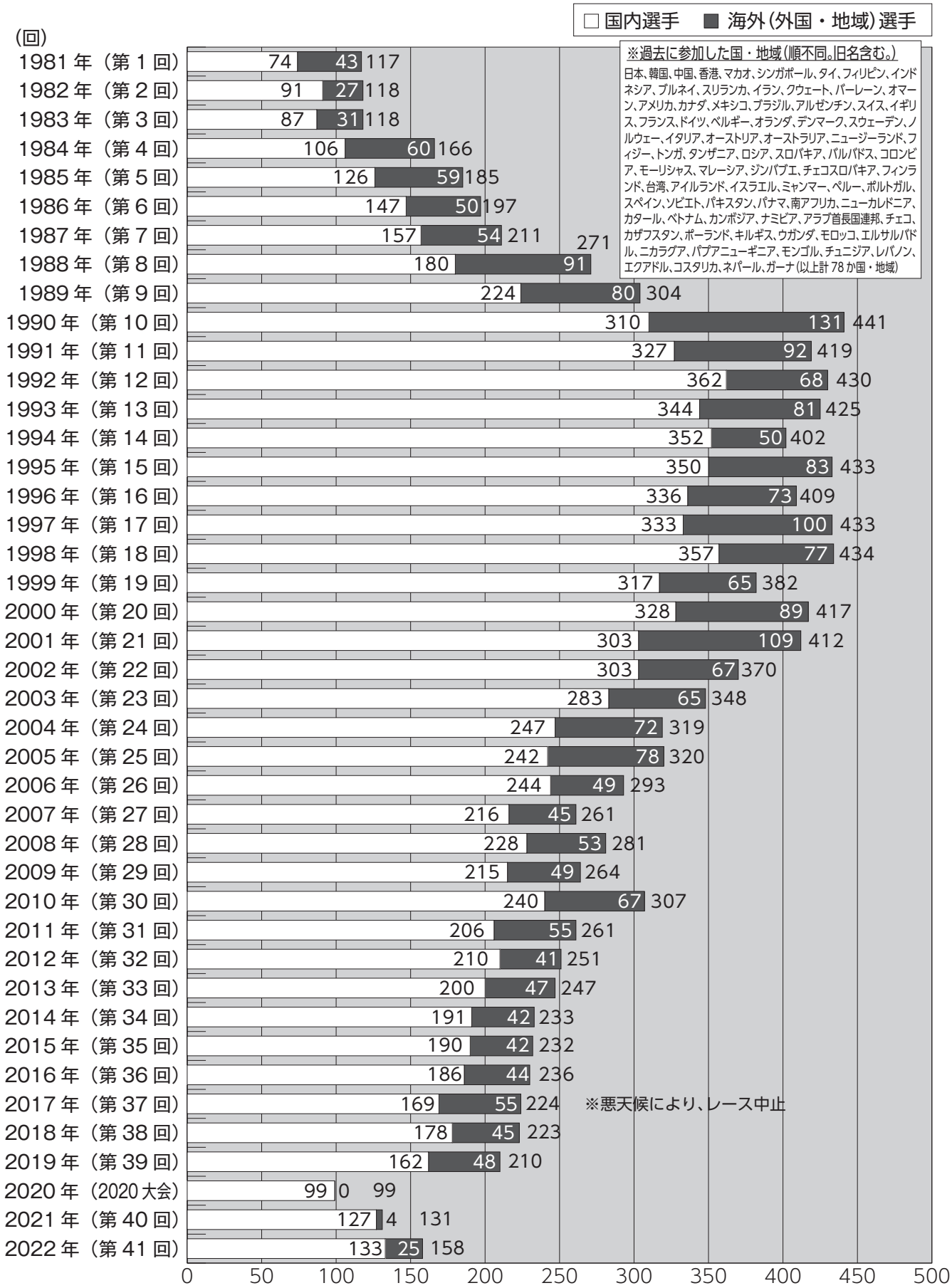
時　刻	式　次　第	時　刻	式　次　第
8：00	1　ウォームアップ開始	9：50	6　スタート地点選手誘導開始
9：25	2　ウォームアップ終了	9：57	7　選手ラインアップ完了
9：25	3　選手整列開始	10：00	8　マラソンスタート
9：35	4　スタート地点交通規制開始	10：03	9　ハーフマラソンスタート
9：45	5　選手整列完了		

閉会式次第

令和４年11月20日（日）ジェイリーススタジアム

時　刻	式　次　第	備　　考
13：20	開式通告	ファンファーレ
13：21	成績発表（ハーフマラソンの部）	ハーフマラソン審判長
13：26	表彰（ハーフマラソン）	表彰者
	男子Ｔ51	大会役員・来賓
	女子Ｔ33/52	
	男子Ｔ33/53	
	女子Ｔ34/53/54	
	男子Ｔ34/53/54	
13：36	成績発表（マラソンの部）	マラソン審判長
13：41	表彰（マラソン）	表彰者
	男子Ｔ51	大会役員・来賓
	男子Ｔ33/52	
	女子Ｔ34/53/54	
	男子Ｔ34/53/54	
14：00	大会会長あいさつ	大会会長　大分県知事　広瀬勝貞
14：05	閉式宣言	ファンファーレ
14：07	閉式通告	

参加者数の推移



※41 回までの参加延べ人数［国内選手 9,480 人／国外（外国・地域）選手 2,506 人＝合計 11,986 人］（37 回含む）

年／大会		国内									
		ハーフマラソン			マラソン			合計			参加都道府県数
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第１回大会	72	2	74			0	72	2	74	14
1982年	第２回大会	86	5	91			0	86	5	91	19
1983年	第３回大会	42	4	46	40	1	41	82	5	87	22
1984年	第４回大会	60	2	62	41	3	44	101	5	106	26
1985年	第５回大会	79	2	81	44	1	45	123	3	126	27
1986年	第６回大会	91	5	96	49	2	51	140	7	147	25
1987年	第７回大会	84	4	88	66	3	69	150	7	157	29
1988年	第８回大会	101	7	108	71	1	72	172	8	180	26
1989年	第９回大会	117	13	130	92	2	94	209	15	224	36
1990年	第10回記念大会	155	20	175	130	5	135	285	25	310	41
1991年	第11回大会	173	19	192	130	5	135	303	24	327	41
1992年	第12回大会	199	23	222	136	4	140	335	27	362	43
1993年	第13回大会	183	15	198	143	3	146	326	18	344	43
1994年	第14回大会	186	14	200	148	4	152	334	18	352	43
1995年	第15回大会	176	10	186	161	3	164	337	13	350	43
1996年	第16回大会	164	10	174	160	2	162	324	12	336	44
1997年	第17回大会	168	15	183	147	3	150	315	18	333	43
1998年	第18回大会	173	16	189	165	3	168	338	19	357	43
1999年	第19回大会	165	15	180	134	3	137	299	18	317	42
2000年	第20回記念大会	172	16	188	136	4	140	308	20	328	40
2001年	第21回大会	162	15	177	122	4	126	284	19	303	40
2002年	第22回大会	162	15	177	123	3	126	285	18	303	41
2003年	第23回大会	161	12	173	104	6	110	265	18	283	37
2004年	第24回大会	131	11	142	101	4	105	232	15	247	39
2005年	第25回大会	123	14	137	103	2	105	226	16	242	39
2006年	第26回大会	146	13	159	83	2	85	229	15	244	39
2007年	第27回大会	128	12	140	73	3	76	201	15	216	36
2008年	第28回大会	136	14	150	76	2	78	212	16	228	38
2009年	第29回大会	136	11	147	66	2	68	202	13	215	37
2010年	第30回記念大会	144	13	157	81	2	83	225	15	240	37
2011年	第31回大会	128	7	135	68	3	71	196	10	206	37
2012年	第32回大会	134	7	141	64	5	69	198	12	210	37
2013年	第33回大会	131	10	141	55	4	59	186	14	200	37
2014年	第34回大会	128	11	139	49	3	52	177	14	191	32
2015年	第35回大会	133	12	145	43	2	45	176	14	190	32
2016年	第36回大会	141	11	152	33	1	34	174	12	186	31
2017年	第37回大会※	127	7	134	33	2	35	160	9	169	31
2018年	第38回大会	130	10	140	37	1	38	167	11	178	29
2019年	第39回大会	111	11	122	37	3	40	148	14	162	29
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	23
2021年	第40回記念大会	94	9	103	23	1	24	117	10	127	26
2022年	第41回大会	101	10	111	20	2	22	121	12	133	30
大会合計		5, 506	456	5, 962	3, 407	111	3, 518	8, 913	567	9, 480	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年／大会		海　外									
		ハーフマラソン			マラソン			合計			海外参加国数
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第１回大会	38	5	43			0	38	5	43	13
1982年	第２回大会	24	3	27			0	24	3	27	12
1983年	第３回大会	14	1	15	14	2	16	28	3	31	13
1984年	第４回大会	25	3	28	26	6	32	51	9	60	21
1985年	第５回大会	33	5	38	20	1	21	53	6	59	19
1986年	第６回大会	24	3	27	20	3	23	44	6	50	18
1987年	第７回大会	22	3	25	25	4	29	47	7	54	19
1988年	第８回大会	44	14	58	31	2	33	75	16	91	30
1989年	第９回大会	30	14	44	34	2	36	64	16	80	24
1990年	第10回記念大会	43	17	60	65	6	71	108	23	131	36
1991年	第11回大会	43	8	51	38	3	41	81	11	92	32
1992年	第12回大会	33	7	40	26	2	28	59	9	68	29
1993年	第13回大会	43	3	46	32	3	35	75	6	81	31
1994年	第14回大会	26	5	31	17	2	19	43	7	50	26
1995年	第15回大会	39	10	49	31	3	34	70	13	83	41
1996年	第16回大会	33	8	41	30	2	32	63	10	73	32
1997年	第17回大会	40	8	48	46	6	52	86	14	100	27
1998年	第18回大会	31	9	40	32	5	37	63	14	77	26
1999年	第19回大会	31	3	34	30	1	31	61	4	65	25
2000年	第20回記念大会	47	7	54	28	7	35	75	14	89	29
2001年	第21回大会	49	6	55	46	8	54	95	14	109	27
2002年	第22回大会	26	5	31	33	3	36	59	8	67	26
2003年	第23回大会	21	3	24	36	5	41	57	8	65	19
2004年	第24回大会	24	8	32	36	4	40	60	12	72	17
2005年	第25回大会	26	9	35	40	3	43	66	12	78	19
2006年	第26回大会	16	5	21	24	4	28	40	9	49	15
2007年	第27回大会	14	2	16	25	4	29	39	6	45	14
2008年	第28回大会	15	1	16	30	7	37	45	8	53	14
2009年	第29回大会	16	2	18	28	3	31	44	5	49	15
2010年	第30回記念大会	22	3	25	38	4	42	60	7	67	19
2011年	第31回大会	16	2	18	32	5	37	48	7	55	15
2012年	第32回大会	12	2	14	24	3	27	36	5	41	13
2013年	第33回大会	12	3	15	27	5	32	39	8	47	15
2014年	第34回大会	8	5	13	25	4	29	33	9	42	13
2015年	第35回大会	8	2	10	27	5	32	35	7	42	14
2016年	第36回大会	19	2	21	19	4	23	38	6	44	14
2017年	第37回大会※	14	7	21	25	9	34	39	16	55	15
2018年	第38回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
2019年	第39回大会	7	1	8	34	6	40	41	7	48	18
2020年	2020大会	―	―	―	―	―	―	―	―	―	0
2021年	第40回記念大会	1	0	1	2	1	3	3	1	4	3
2022年	第41回大会	6	0	6	16	3	19	22	3	25	12
大会合計		1, 018	206	1, 214	1, 135	157	1, 292	2, 143	363	2, 506	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年／大会		合計									参加国数	協賛スポンサー
		ハーフマラソン			マラソン			合計				
		男	女	小計	男	女	小計	男	女			
1981年	第１回大会	110	7	117	0	0	0	110	7	117	14	3(3)
1982年	第２回大会	110	8	118	0	0	0	110	8	118	13	1(0)
1983年	第３回大会	56	5	61	54	3	57	110	8	118	14	1(0)
1984年	第４回大会	85	5	90	67	9	76	152	14	166	22	4(3)
1985年	第５回大会	112	7	119	64	2	66	176	9	185	20	4(1)
1986年	第６回大会	115	8	123	69	5	74	184	13	197	19	2(0)
1987年	第７回大会	106	7	113	91	7	98	197	14	211	20	3(0)
1988年	第８回大会	145	21	166	102	3	105	247	24	271	31	9(5)
1989年	第９回大会	147	27	174	126	4	130	273	31	304	25	6(0)
1990年	第10回記念大会	198	37	235	195	11	206	393	48	441	37	13(7)
1991年	第11回大会	216	27	243	168	8	176	384	35	419	33	17(4)
1992年	第12回大会	232	30	262	162	6	168	394	36	430	30	17(0)
1993年	第13回大会	226	18	244	175	6	181	401	24	425	32	18(2)
1994年	第14回大会	212	19	231	165	6	171	377	25	402	27	18(1)
1995年	第15回大会	215	20	235	192	6	198	407	26	433	42	20(2)
1996年	第16回大会	197	18	215	190	4	194	387	22	409	33	22(2)
1997年	第17回大会	208	23	231	193	9	202	401	32	433	28	22(2)
1998年	第18回大会	204	25	229	197	8	205	401	33	434	27	21(0)
1999年	第19回大会	196	18	214	164	4	168	360	22	382	26	22(1)
2000年	第20回記念大会	219	23	242	164	11	175	383	34	417	30	24(1)
2001年	第21回大会	211	21	232	168	12	180	379	33	412	28	24(1)
2002年	第22回大会	188	20	208	156	6	162	344	26	370	27	22(0)
2003年	第23回大会	182	15	197	140	11	151	322	26	348	20	19(0)
2004年	第24回大会	155	19	174	137	8	145	292	27	319	18	16(0)
2005年	第25回大会	149	23	172	143	5	148	292	28	320	20	16(2)
2006年	第26回大会	162	18	180	107	6	113	269	24	293	16	17(3)
2007年	第27回大会	142	14	156	98	7	105	240	21	261	15	17(1)
2008年	第28回大会	151	15	166	106	9	115	257	24	281	15	18(1)
2009年	第29回大会	152	13	165	94	5	99	246	18	264	16	14(0)
2010年	第30回記念大会	166	16	182	119	6	125	285	22	307	20	18(4)
2011年	第31回大会	144	9	153	100	8	108	244	17	261	16	17(0)
2012年	第32回大会	146	9	155	88	8	96	234	17	251	14	17(1)
2013年	第33回大会	143	13	156	82	9	91	225	22	247	16	17(0)
2014年	第34回大会	136	16	152	74	7	81	210	23	233	14	19(2)
2015年	第35回大会	141	14	155	70	7	77	211	21	232	15	22(3)
2016年	第36回大会	160	13	173	52	5	57	212	18	230	15	26(5)
2017年	第37回大会※	141	14	155	58	11	69	199	25	224	16	26(2)
2018年	第38回大会	143	12	155	60	8	68	203	20	223	16	33(10)
2019年	第39回大会	118	12	130	71	9	80	189	21	210	19	36(7)
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	1	31(1)
2021年	第40回記念大会	95	9	104	25	2	27	120	11	131	4	40(7)
2022年	第41回大会	107	10	117	36	5	41	143	15	158	13	45(7)
大会合計		6,514	662	7,176	4,542	268	4,810	11,056	930	11,986		※(うち新規)

※第37回大会は悪天候により、レース中止

歴代優勝者とその記録

★世界記録　＊大会記録

	マラソン				ハーフマラソン			
	男子		女子		男子		女子	
	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位
第1回	— — —	— — —	— — —	— — —	ゲオルグ・フロイント オーストリア 1°01′46″	宇田津　幸男 大阪府 1°12′42″	マーシャ・ビバード アメリカ 1°21′43″	中村　広美 鹿児島県 1°45′20″
第2回	— — —	— — —	— — —	— — —	リック・ハンセン カナダ 58′30″	松井　順一 長野県 1°08′05″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1°13′26″	坂元　りつ子 大阪府 1°35′56″
第3回	グレコール・ゴロンベック 西ドイツ 2°07′54″	山本　行文 大分県 2°22′20″	キャンディス・ケーブル アメリカ 2°35′48″	— — —	ポール・ファン・ウィンケル ベルギー 1°05′24″	永尾　嘉章 兵庫県 1°17′57″	幸塚　直子 石川県 1°27′53″	— — —
第4回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°48′25″	山本　行文 大分県 2°00′47″	キャンディス・ケーブル アメリカ 2°21′09″	幸塚　直子 石川県 2°38′14″	メシャリ・アル・オタイビ クウェート 58′33″	永尾　嘉章 兵庫県 1°06′33″	ピン・チョー 香港 1°21′28″	岩田　いつ子 愛知県 1°27′24″
第5回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°49′46″	山本　行文 大分県 2°00′48″	ガブリエル・シルト スイス 2°46′42″	— — —	ウリエル・デ・マルチネス・メンデス メキシコ 59′39″	宮居　昌彦 和歌山県 1°07′36″	シャロン・フレネット アメリカ 1°14′58″	多智　利枝 東京都 1°24′35″
第6回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°45′36″	山本　行文 熊本県 1°50′05″	アンジェラ・イエリティ カナダ 1°58′51″	多智　利枝 東京都 3°02′16″	林　誠二 大阪府 1°00′47″	— — —	カレン・ウィルソン イギリス 1°20′38″	岩田　いつ子 愛知県 1°22′51″
第7回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°44′18″	山本　行文 熊本県 1°53′36″	アンジェラ・イエリティ カナダ 2°04′31″	岩田　いつ子 愛知県 2°42′22″	サウル・メンドーサ メキシコ 56′20″	伊藤　平太 佐賀県 1°02′16″	坂内　留美 東京都 1°19′09″	— — —
第8回	ポール・クラーク カナダ 1°38′27″	山本　行文 熊本県 1°42′42″	コニー・ハンセン デンマーク 2°05′28″	— — —	マヌエル・カサス メキシコ 55′22″	竹村　克明 埼玉県 1°04′06″	イングリッド・ラオリッツエン デンマーク 1°09′20″	坂内　留美 東京都 1°15′40″
第9回	ムスタファ・パディ フランス 1°40′45″	山本　行文 熊本県 1°43′21″	ジャネット・ジャンセン オランダ 1°48′45″	坂内　留美 東京都 2°49′09″	ラジャ・シン シンガポール 52′58″	山田　和宏 岡山県 1°01′58″	イングリッド・ラオリッツエン デンマーク 58′57″	畑中　和 兵庫県 1°06′45″
第10回	ハインツ・フライ スイス 1°39′35″	山口　悟志 大阪府 1°47′07″	ジャネット・ジャンセン オランダ 1°47′09″	長谷川　尚美 兵庫県 1°51′31″	ロベルト・フィグル ドイツ 48′26″	須田　伸太郎 山形県 57′06″	ディアンナ・ソドマ アメリカ 1°00′03″	伊藤　由美 東京都 1°07′10″
第11回	ハインツ・フライ スイス 1°35′46″	川島　誉 和歌山県 1°45′44″	コニー・ハンセン デンマーク 1°47′45″	畑中　和 兵庫県 2°02′10″	サウル・メンドーサ メキシコ 49′42″	中田　達也 京都府 55′19″	イングリッド・ラオリッツエン デンマーク 1°01′54″	伊藤　由美 東京都 1°07′49″
第12回	クーリッジ・スチャポート 南アフリカ 1°35′47″	山本　行文 熊本県 1°43′29″	リリー・アングレニー ドイツ 1°48′35″	畑中　和 兵庫県 1°54′28″	ジェイコブ・ヘイルヴェイル アメリカ 53′47″	山見　誠治 福岡県 53′47″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 57′06″	藤原　志保 静岡県 1°06′24″
第13回	ハインツ・フライ スイス 1°34′35″	中村　博之 大阪府 1°39′56″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1°52′06″	畑中　和 兵庫県 1°56′34″	ホルヘ・ルヤ・ゼペダ メキシコ 47′04″	野沢　英二 青森県 50′32″	南野　教子 福岡県 1°08′02″	— — —
第14回	ハインツ・フライ スイス 1°30′54″	室塚　一也 北海道 1°39′09″	シャンタル・プティクレー カナダ 2°01′58″	南野　教子 福岡県 2°27′35″	ジム・C・マーティンソン アメリカ 48′07″	野沢　英二 青森県 53′05″	ドラ・ガルシア・エストラーダ メキシコ 1°05′14″	藤原　志保 静岡県 1°07′52″
第15回	ハインツ・フライ スイス 1°22′38″	室塚　一也 北海道 1°30′54″	畑中　和 兵庫県 1°44′36″	— — —	エリック・ナイツェル アメリカ 46′32″	野沢　英二 青森県 49′59″	コニー・ハンセン デンマーク 55′19″	櫻田　陽子 神奈川県 59′05″
第16回	ハインツ・フライ スイス 1°24′24″	廣道　純 兵庫県 1°31′12″	ルイーズ・サヴァージュ オーストラリア 1°45′03″	畑中　和 兵庫県 1°48″08′	エリック・ナイツェル アメリカ 47′12″	西田　聡 長崎県 47′16″	土田　和歌子 東京都 55′30″	— — —
第17回	ハインツ・フライ スイス 1°24′49″	室塚　一也 北海道 1°31′34″	畑中　和 兵庫県 1°39′40″	— — —	アアロン・ゴルディアン メキシコ 45′57″	野沢　英二 青森県 51′41″	奥山　京子 山形県 54′40″	— — —
第18回	ハインツ・フライ スイス 1°26′55″	室塚　一也 北海道 1°34′51″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1°51′36″	土田　和歌子 東京都 1°56′34″	エクトル・エルナンデス メキシコ 46′37″	渡辺　幹司 大分県 46′40″	アリアデン・エルナンデス メキシコ 56′16″	高良　依子 沖縄県 1°00′01″
第19回	ハインツ・フライ スイス 1°20′14″	室塚　一也 北海道 1°31′55″	畑中　和 兵庫県 1°44′31″	— — —	藤川　泰博 兵庫県 46′50″	— — —	グニラ・ワレングレン スウェーデン 51′30″	川島　由美 愛知県 57′09″
第20回	ハインツ・フライ スイス 1°22′03″	室塚　一也 北海道 1°30′32″	畑中　和 兵庫県 1°42′53″	— — —	エクトル・エルナンデス メキシコ 46′40″	藤田　英二 山口県 46′41″	土田　和歌子 東京都 ＊49′36″	— — —
第21回	ハインツ・フライ スイス 1°22′20″	廣道　純 大分県 1°29′38″	土田　和歌子 東京都 1°38′32″	— — —	渡辺　習輔 大分県 45′01″	— — —	長澤　麻子 山梨県 1°02′16″	— — —
第22回	ハインツ・フライ スイス 1°25′46″	廣道　純 大分県 1°30′20″	土田　和歌子 東京都 1°44′39″	— — —	ポール・ナナリー オーストラリア 47′04″	寒川　進 京都府 47′05″	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 58′03″	小峯　直美 愛知県 1°03′30″
第23回	ジョエル・ジャノ フランス 1°25′43″	クルンゲルン・ブランチョーク 大分県 1°29′59″	土田　和歌子 東京都 1°40′01″	— — —	渡辺　習輔 大分県 44′37″	— — —	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 1°00′59″	小峯　直美 愛知県 1°03′16″

歴代優勝者とその記録

マラソン

★世界記録　＊大会記録

	男子			女子			国内１位
	T51	T52	T53／54	T51	T52	T53／54	
第24回	完走者なし	吉本　茂 長野県 2°04′07″	ｴﾚﾝｽﾄ・ﾌｧﾝ ﾀﾞｲｸ 南アフリカ 1°28′03″	出走者なし	ﾘｻ・ﾏﾘｰ・ﾌﾗﾝｸｽ カナダ 2°10′27″	ダイアン・ロイ カナダ 1°52′25″	笹原　廣喜 大分県 1°28′31″
第25回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°39′46″	伊藤　智也 三重県 2°00′02″	ｴﾚﾝｽﾄ・ﾌｧﾝ ﾀﾞｲｸ 南アフリカ 1°26′37″	出走者なし	八巻　智美 福島県 2°19′36″	ダイアン・ロイ カナダ 1°46′07″	笹原　廣喜 大分県 1°26′41″
第26回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°36′24″	伊藤　智也 三重県 1°52′36″	笹原　廣喜 大分県 1°24′15″	出走者なし	八巻　智美 福島県 2°17′49″	畑中　和 兵庫県 1°39′28″	笹原　廣喜 大分県 1°24′15″
第27回	ﾊｲﾝﾘｯﾋ・ｸｰﾍﾞｰﾙ ドイツ 2°40′09″	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン ＊1°43′46″	ｴﾚﾝｽﾄ・ﾌｧﾝ ﾀﾞｲｸ 南アフリカ 1°23′22″	出走者なし	八巻　智美 福島県 2°09′50″	土田　和歌子 東京都 1°38′55″	山本　浩之 福岡県 1°23′22″
第28回	完走者なし	上与那原　寛和 沖縄県 1°47′17″	ハインツ・フライ スイス 1°26′06″	出走者なし	八巻　智美 福島県 ★2°07′28″	ｱﾏﾝﾀﾞ・ﾏｸｸﾞﾛｰﾘｰ アメリカ 1°43′33″	副島　正純 福岡県 1°27′36″
第29回	完走者なし	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°47′37″	ハインツ・フライ スイス 1°25′46″	出走者なし	ﾐｼｪﾙ・ｽﾃｲｳｪﾙ カナダ 2°21′16″	土田　和歌子 東京都 1°39′35″	山本　浩之 福岡県 1°26′12″

	男子			女子			国内１位
	T51	T33／52	T34／53／54	T51	T33／52	T34／53／54	
第30回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°32′36″	上与那原　寛和 沖縄県 1°50′22″	マルセル・フグ スイス 1°23′28″	出走者なし	ﾐｼｪﾙ・ｽﾃｲｳｪﾙ カナダ 2°30′52″	ｱﾏﾝﾀﾞ・ﾏｸｸﾞﾛｰﾘｰ アメリカ 1°44′38″	洞ノ上　浩太 福岡県 1°23′30″
第31回	完走者なし	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°50′25″	マルセル・フグ スイス 1°24′55″	出走者なし	出走者なし	サンドラ・グラフ スイス 1°45′37″	樋口　政幸 長野県 1°24′55″
第32回	井上　聡 愛媛県 2°59′13″	高田　稔浩 福井県 2°00′05″	マルセル・フグ スイス 1°25′08″	出走者なし	出走者なし	土田　和歌子 東京都 1°43′10″	山本　浩之 福岡県 1°30′09″
第33回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°37′15″	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°46′09″	マルセル・フグ スイス 1°23′49″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス 1°38′07″	山本　浩之 福岡県 1°28′38″
第34回	完走者なし	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°47′29″	マルセル・フグ スイス 1°21′40″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス 1°38′42″	山本　浩之 福岡県 1°28′27″
第35回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°39′52″	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°48′01″	マルセル・フグ スイス 1°24′53″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス 1°40′46″	山本　浩之 福岡県 1°25′15″
第36回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°30′53″	佐藤　友祈 岡山県 1°49′32″	山本　浩之 福岡県 1°26′02″	出走者なし	出走者なし	喜納　翼 沖縄県 1°44′56″	山本　浩之 福岡県 1°26′02″
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°37′06″	佐藤　友祈 岡山県 1°47′57″	マルセル・フグ スイス 1°23′59″	出走者なし	出走者なし	喜納　翼 沖縄県 1°39′36″	鈴木　朋樹 千葉県 1°24′00″
第39回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°27′07″	上与那原　寛和 沖縄県 1°53′04″	マルセル・フグ スイス 1°22′51″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス ★1°35′42″	鈴木　朋樹 東京都 1°22′55″
2020	出走者なし	佐藤　友祈 岡山県 1°49′29″	鈴木　朋樹 東京都 1°22′02″	出走者なし	出走者なし	土田　和歌子 東京都 1°39′42″	鈴木　朋樹 東京都 1°22′02″
第40回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°34′30″	佐藤　友祈 岡山県 1°50′19″	マルセル・フグ スイス ★1°17′47″	出走者なし	出走者なし	喜納　翼 沖縄県 1°40′13″	鈴木　朋樹 東京都 1°18′37″
第41回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ ＊2°22′33″	佐藤　友祈 岡山県 1°49′57″	マルセル・フグ スイス 1°21′10″	出走者なし	出走者なし	土田　和歌子 東京都 1°37′59″	鈴木　朋樹 埼玉県 1°24′44″

歴代優勝者とその記録

ハーフマラソン

★世界記録　＊大会記録

	男子			女子		
	T51	T52	T53／54	T51	T52	T53／54
第24回	濱添　要 大分県 1°49′31″	吉野　真旨 兵庫県 1°07′04″	渡辺　習輔 大分県 46′05″	出走者なし	クリステン・メサー アメリカ 2°07′16″	川島　由美 兵庫県 54′33″
第25回	濱添　要 長崎県 1°34′05″	森島　英樹 兵庫県 1°11′16″	渡辺　習輔 大分県 47′17″	完走者なし	要田　美紀 東京都 1°16′16″	川島　由美 兵庫県 54′56″
第26回	濱添　要 長崎県 1°32′51″	上与那原　寛和 沖縄県 53′59″	吉田　高志 大分県 45′06″	完走者なし	要田　美紀 東京都 1°13′29″	リュー・ウェン・ユン 中国 53′55″
第27回	濱添　要 長崎県 1°32′56″	森島　英樹 兵庫県 1°05′53″	吉田　高志 大分県 45′24″	完走者なし	佐藤　由加 岡山県 1°12′57″	宮本　美紀 岡山県 1°00′55″
第28回	濱添　要 長崎県 1°36′26″	浜上　悟 石川県 1°04′00″	渡辺　習輔 大分県 46′51″	完走者なし	佐藤　由加 岡山県 1°12′37″	髙嵜　瑞喜 東京都 1°02′12″
第29回	濱添　要 長崎県 1°36′29″	松本　直幸 福岡県 1°07′38″	西原　宏明 京都府 45′21″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°11′58″	リュー・ウェン・ユン 中国 55′17″

	男子			女子			新人賞
	T51	T33／52	T34／53／54	T51	T33／52	T34／53／54	
第30回	濱添　要 長崎県 1°31′31″	佐藤　仁志 岡山県 1°10′14″	渡辺　習輔 大分県 45′11″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°12′11″	マニュエラ・シャー スイス 54′33″	
第31回	ケビン・ストークス アメリカ 1°30′46″	デュアン・モロー アメリカ 1°06′31″	リチャード・コールマン オーストラリア 48′10″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°10′16″	マニュエラ・シャー スイス 56′58″	
第32回	長崎　裕也 東京都 1°36′01″	野田　昭和 鳥取県 56′49″	佐矢野　利明 大分県 46′46″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°08′10″	ローズマリー・リトル オーストラリア 57′22″	
第33回	平山　健悟 福岡県 1°44′42″	野田　昭和 鳥取県 55′41″	ピエール・フェアーバンク フランス 45′05″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°10′10″	ローズマリー・リトル オーストラリア 58′44″	渡辺　勝 福岡県 46′10″
第34回	清田　愼也 熊本県 1°37′40″	佐藤　友祈 静岡県 ＊53′10″	松永　仁志 岡山県 46′35″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°09′54″	ローズマリー・リトル オーストラリア 53′11″	河室　隆一 大分県 50′33″
第35回	清田　愼也 熊本県 1°28′53″	野田　昭和 鳥取県 53′41″	渡辺　勝 福岡県 47′32″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°12′54″	中山　和美 神奈川県 53′11″	田中　祥隆 福岡県 52′29″
第36回	エルネスト・フォンセカ コスタリカ 1°25′11″	野田　昭和 鳥取県 56′44″	渡辺　勝 福岡県 43′46″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°11′14″	リュー・ウェンユン 中国 52′05″	武村　浩生 福岡県 50′52″
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	清田　愼也 熊本県 1°24′48″	野田　昭和 鳥取県 53′50″	百武　強士 佐賀県 46′11″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°11′52″	中山　和美 神奈川県 52′59″	生馬　知季 岡山県 46′21″
第39回	井上　聡 愛媛県 1°27′22″	野田　昭和 鳥取県 55′46″	サミュエル・リゾ オーストラリア 46′35″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°17′49″	見﨑　真未 熊本県 1°15′37″	岸澤　宏樹 大阪府 48′31″
2020	出走者なし	伊藤　竜也 福井県 57′48″	久保　恒造 北海道 ＊43′42″	出走者なし	片平　留依 福岡県 1°45′35″	安川　祐里香 沖縄県 57′36″	仲泊　厚志 沖縄県 49′01″
第40回	出走者なし	伊藤　竜也 福井県 56′00″	生馬　知季 岡山県 44′43″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°16′33″	安川　祐里香 沖縄県 58′22″	
第41回	清田　愼也 熊本県 1°31′48″	伊藤　竜也 福井県 55′54″	生馬　知季 岡山県 45′32″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°19′59″	村岡　桃佳 岡山県 54′10″	

協力者名簿

大分県警察本部
大分中央警察署
陸上自衛隊第41普通科連隊
日本赤十字社大分県支部
大分市医師会立アルメイダ病院
大分大学医学部付属病院
大分県障害者スポーツ指導者協議会
株式会社レンブラントホテル大分

大分県警察本部交通部交通機動隊
大分東警察署
大分市交通指導員連合会
社会医療法人恵愛会大分中村病院
一般社団法人大分県医師会
国立別府重度障害者センター
株式会社大分センチュリーホテル
大分土木事務所

大分県共同募金会
大分県信用組合
株式会社トキハ
千代田商事株式会社
大分航空ターミナル株式会社
サントリーホールディングス株式会社

大分みらい信用金庫
日本製鉄株式会社九州製鉄所
株式会社豊和銀行
九州労働金庫
株式会社中津レンタリース
近藤　晴彦

大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do
本田技研労働組合
株式会社富士通エフサス
株式会社九電工
大分キヤノン株式会社
ジブラルタ生命株式会社
全日本空輸株式会社
医療法人社団唱和会明野中央病院
第一生命保険株式会社
株式会社コンカー
社会福祉法人わかば会　清流の郷
大分みらい信用金庫
大分航空ターミナル株式会社
連合大分地域協議会
大分リハビリテーション専門学校
楊志館高等学校
社会福祉法人太陽の家

オムロン太陽株式会社
三菱商事株式会社
九州電力株式会社
九州電力送配電株式会社
大分キヤノンマテリアル株式会社
清水建設株式会社
全国共済農業協同組合連合会
東京海上日動火災保険株式会社
鬼塚電気工事株式会社
西日本電信電話株式会社
株式会社ブンゴヤ薬局
有限会社アズメディック
大分県ボランティア・市民活動センター
大分東明高等学校
学校法人大原学園
新別府病院

別府医療センター
スポーツボランティアの皆さま

国立病院機構大分医療センター

大分市営陸上競技場
国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
大分地方法務局
平和市民公園（大分市公園緑地課）
大分県立大分舞鶴高等学校
大分市立舞鶴小学校
大分県職員駐車場運営委員会
王子マテリア株式会社
昭和電工株式会社
ダイワ運輸株式会社
株式会社エーワン

国土交通省九州運輸局大分運輸支局
大分地方検察庁
別府市下水道課
大分県身体障害者福祉センター
大分県立大分商業高等学校
大分市営温水プール
日本製鉄九州製鉄所
大和リース株式会社
株式会社きんでん
明星国際ビューティーカレッジ
ディスカウントドラッグコスモス王子港町店

セブンイレブン大分日岡3丁目店
ローソン大津町１丁目店
二豊学園
大分県立臼杵支援学校
社会福祉法人新友会
社会福祉法人アップルミント

セブンイレブン大分中島中央店
ローソン大分王子町店
大分県立新生支援学校
大分県のぞみ園
社会福祉法人法治会

一般社団法人大分県バス協会
社団法人大分県個人タクシー協会
大分市タクシー協会
大分交通株式会社
株式会社別府急配

一般社団法人大分県タクシー協会
公益社団法人大分県トラック協会
大分バス株式会社
株式会社シティタクシーホールディングス

（車いす修理へご協力いただいた皆さま）
有限会社大分タキ
株式会社ミキ

日進医療器株式会社
株式会社オーエックスエンジニアリング

三菱商事太陽株式会社

小川　清美

その他、沿道住民・沿線企業・学校・施設ほか大会前後や当日にご協力いただいたボランティア等（以上順不同、敬称略）
皆さまのおかげをもちまして第41回大分国際車いすマラソンを開催することができました。
厚くお礼を申し上げます。

第41回大分国際車いすマラソン　記念誌

企画編集　大分国際車いすマラソン事務局
（大分県福祉保健部障害者社会参加推進室）
https://kurumaisu-marathon.com
TEL　097-533-6006
FAX 097-506-1736

印 刷 所　株式会社 佐伯コミュニケーションズ
TEL　097-543-1211

Platinum Partner

OMRON
SONY
HONDA
三菱商事
DENSO
FUJITSU
新日本製薬
明野中央病院 AKENO CENTRAL HOSPITAL

Official Partner

大分銀行
九電工
Canon
SHIPS
Gibraltar ジブラルタ生命
清水建設
公益社団法人 大分県薬剤師会 Oita Pharmaceutical Association
マルミヤストア
ANA
JA共済
別大興産
TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動
一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group
鬼塚電気工事 ONIZUKA ELECTRIC WORKS
phiten
SAP Concur
笹川スポーツ財団 SASAKAWA SPORTS FOUNDATION
日本郵便
YAHOO! JAPAN
NTT西日本
障害者支援施設 清流の郷
AUTOBACS SEVEN
ブンゴヤ ヘルス・ケア ブンゴヤ薬局 グループ
日本赤十字社 Japanese Red Cross Society
SUZUKI CO.,LTD.
新星工業株式会社
DAITETSU
株式会社フジタ
HITOTOSE
transcosmos people & technology
YASKAWA 安川電機
モリサワ
社会福祉法人 暘谷福祉会 暘谷苑
第一交通産業 DAI-ICHI
HOVER DRIVE FLY TO THE UNKNOWN

大　分　県　公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 ／ 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
大　分　市　大分合同新聞社 ／ 社会福祉法人大分県社会福祉協議会 ／ 大分県障がい者スポーツ協会
●本大会は、「赤い羽根共同募金配分金」の助成をいただいています。

あなたに夢を。街に元気を。 クーちゃん 宝くじ